

第 2 次春日井市生涯学習推進計画 令和元年度進捗状況報告書

令和 2 年 7 月

春日井市文化スポーツ部文化・生涯学習課

目 次

第2次生涯学習推進計画の概要	1
計画策定の目的	2
基本理念	2
基本目標	3
施策の体系	4
令和元年度 推進計画進捗状況	10
基本目標1 学びにつながるきっかけづくり	13
施策1-1 生涯学習に関する情報提供の充実	13
施策1-2 学習活動の多様なきっかけの提供	15
基本目標2 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実	18
施策2-1 ライフステージに応じた学習機会の充実	18
施策2-2 現代的・社会的課題やニーズに対応した学習機会の充実	27
施策2-3 生涯スポーツの振興	37
施策2-4 文化芸術の振興	41
基本目標3 学んだ成果を生かせる仕組みづくり	46
施策3-1 地域の担い手となる人材の発掘及び育成	46
施策3-2 学習成果を生かす機会の充実	50
施策3-3 学習成果を生かしたまちづくりの推進	53
基本目標4 学びを豊かにする環境づくり	55
施策4-1 身近な生涯学習関連施設の充実	55
施策4-2 自主的な学習活動への支援	59
施策4-3 関係機関とのネットワークの構築	62
◆推進計画全体（計画期間2年目）の評価	64

第2次生涯学習推進計画の概要

計画策定の目的

生涯学習を通じた暮らしやすいまちを目指し、文化及び生涯スポーツの更なる振興、これまで生涯学習に取り組んでこなかった層に対する働きかけの強化、計画の進行管理及び着実な実行を推進するための数値目標の設定を盛り込み、本市における生涯学習を推進するための指針となる計画として「第2次春日井市生涯学習推進計画」を策定しました。

基本理念

市民一人ひとりが心豊かな生活を送るためには、学びを通じて一人ひとりの潜在能力を最大限伸ばすとともに、学習活動を通じた地域活動の推進、現代的・社会的な課題に対応した学習などの推進を図っていく必要があります。これを踏まえ、本計画の基本理念を次のとおりとします。

『一人ひとりの学びが地域の絆と

未来を創り出すまちづくり』

基本目標

基本理念である「一人ひとりの学びが地域の絆と未来を創り出すまちづくり」を実現するため、4つの基本目標を次のとおり定め、総合的な取組を推進します。

(1) 学びにつながるきっかけづくり

学習活動の実践へとつながるよう、さまざまな機会・手法を活用して情報を発信し、学習のきっかけづくりにつなげます。

(2) 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

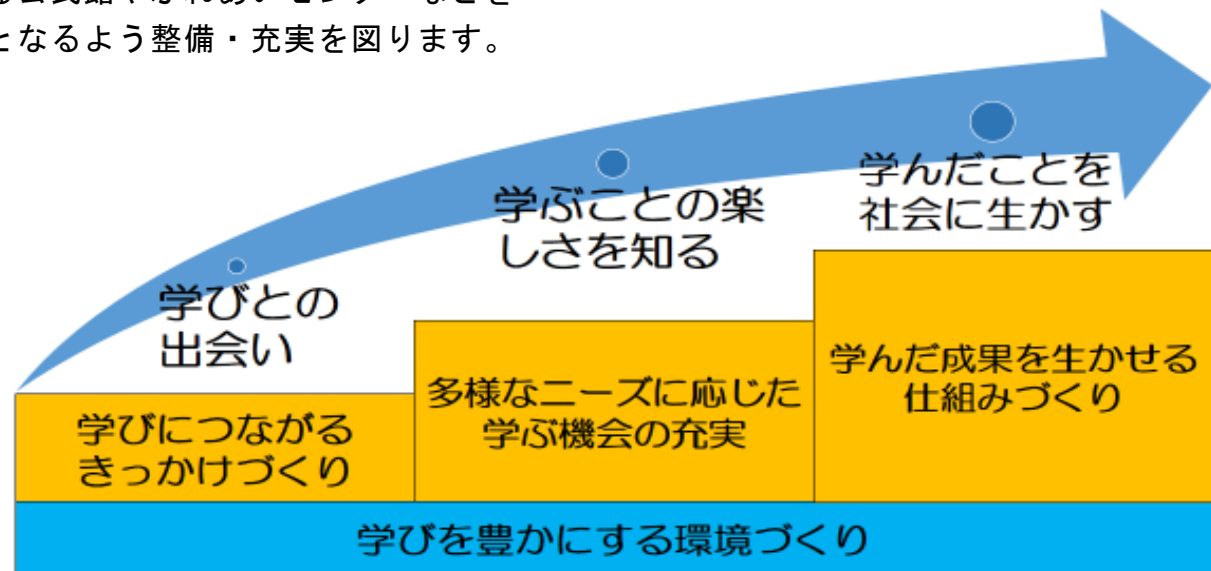
市民ニーズに応じた多様な分野の学習機会を設け、だれもが、いつでも、学ぶことができるよう充実を図ります。

(3) 学んだ成果を生かせる仕組みづくり

市民が学習を通じて身につけた知識・技能などの成果をまちづくりに生かすため、学習成果を発表する機会の確保や、学習成果を地域で広く生かせるよう支援します。

(4) 学びを豊かにする環境づくり

市民の身近な学習や活動の場である公民館やふれあいセンターなどを市民にとって利用しやすい学習施設となるよう整備・充実を図ります。



施策の体系

基本目標 1 学びにつながるきっかけづくり

1-1 生涯学習に関する情報提供の充実

学ぶことの楽しさや大切さに興味・関心を持ってもらうため、講座開催や生涯学習活動団体の情報をさまざまな機会や手法を活用して発信します。

〈具体的な取組〉

(1) 多様な媒体を活用した情報の提供

(2) 生涯学習活動団体の情報の提供

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
生涯学習情報誌「まなびや選科」の認知度	32.3%	37.0%	42.0%
生涯学習情報サイト「まなびや選科」の認知度	32.3%	37.0%	42.0%

1-2 学習活動の多様なきっかけの提供

一人ひとりが自分に合った学習方法や学習する場を選ぶことができるよう、学習活動へのきっかけづくりを行い、学習継続の動機付けとなるような取組を推進します。

〈具体的な取組〉

(1) 相談窓口機能の充実

(2) 生涯学習のきっかけとなる講座の開催

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
生涯学習に取り組んでいる人の割合	65.0%	70.0%	75.0%

基本目標 2 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

2-1 ライフステージに応じた学習機会の充実

人々が生涯にわたって充実した生活を送れるよう、ライフステージによって変化する学習課題に応じた、きめ細かな学習が主体的に行える学習機会の提供を推進します。

〈具体的な取組〉

- (1) 乳幼児期における学習機会の充実
- (2) 青少年期における学習機会の充実
- (3) 成人期における学習機会の充実
- (4) 高齢期における学習機会の充実

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
親子で参加する講座の延受講者数	5,733人	5,900人	6,100人
ふれあい教育セミナーに取り組む小中学校等数	67セミナー	69セミナー	71セミナー
かすがい熟年大学の延受講者数	7,159人	7,500人	7,900人

2-2 現代的・社会的課題やニーズに対応した学習機会の充実

市民の学習ニーズも多様化し、現代社会には多様な課題があることから、現代的・社会的課題への対応を図るための講座や市民ニーズに応じた講座を開催します。

〈具体的な取組〉

- (1) 夜間や休日に開催する講座の充実
- (2) 障がいのある人が学べる機会の充実
- (3) 就労支援や職業能力を高める学習機会の充実
- (4) 情報化・国際化社会に対応した学習機会の充実
- (5) 環境に関する学習機会の充実
- (6) 健康に関する学習機会の充実
- (7) 男女共同参画に関する学習機会の充実
- (8) 市民ニーズの的確な把握

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
公民館及びふれあいセンターなどで開催する講座の延受講者数	26,361人	27,500人	29,000人

2-3 生涯スポーツの振興

全ての市民が生涯にわたって、スポーツに取り組むことで、健やかに過ごし、地域における人々の交流が促進されるよう総合的な取組を進めます。

〈具体的な取組〉

- (1) 多目的総合運動広場の整備
- (2) コミュニティスポーツの推進
- (3) スポーツに関する学習機会の充実

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
スポーツ教室の参加人数	68,266人	70,500人	73,000人

2-4 文化芸術の振興

文化芸術を鑑賞したり、体験したりする学習機会の充実を図るとともに、歴史や文化が後世に受け継がれていくための学習機会の充実を図ります。

〈具体的な取組〉

- (1) 文化芸術の鑑賞機会の提供
- (2) 文化芸術に関する学習機会の充実
- (3) 特色ある文化の推進
- (4) 郷土文化の継承及び文化財保護意識の啓発

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
文化芸術活動をしている人の割合	14.5%	20.0%	25.0%

基本目標 3 学んだ成果を生かせる仕組みづくり

3-1 地域の担い手となる人材の発掘及び育成

地域における学習活動の活発化を図り、専門的知識を持つリーダーを始め、地域や団体活動のリーダー、ボランティアとなる人材の育成と新たな人材の発掘を図ります。

〈具体的な取組〉

(1) 指導者となりうる人材の育成

(2) ボランティアの育成

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
生涯学習情報サイトに登録されている講師者数	232人	260人	290人

3-2 学習成果を生かす機会の充実

市民が学習の成果を社会に還元できるよう、学習活動を通じて身につけた知識、技術、経験などの成果を発表する機会や成果を生かせる場の充実を図ります。

〈具体的な取組〉

(1) 学習成果を発表する機会の提供

(2) 市民自らが企画した講座の開催

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
公民館まつりの参加団体数	153団体	170団体	185団体

3-3 学習成果を生かしたまちづくりの推進

地域課題や生活課題について、市民自らが解決に取り組んでいけるような学習機会を提供するとともに、学習を通じて得た成果を、まちづくりに生かすことを推進します。

〈具体的な取組〉

- (1) 防犯、防災など安全と安心に関する学習機会の充実 (2) 住民主体による地域課題の解決に向けた学習の支援

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
学習活動を通じて身に付けた知識・技能を、地域でのまちづくりや地域の活性化のために生かしたい人の割合	7.2%	9.5%	12.0%

基本目標4 学びを豊かにする環境づくり

4-1 身近な生涯学習関連施設の充実

公民館を始めとした生涯学習関連施設が、市民にとって利用しやすい学習の場となるよう、利便性の向上や適切な維持管理による効率的な運営を目指します。

〈具体的な取組〉

- (1) 市民が利用しやすい施設の運営 (2) 施設の有効活用
 (3) 施設の適切な維持管理

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
公民館及びふれあいセンターなどの利用者数	545,177人	548,500人	552,000人

4-2 自主的な学習活動への支援

市民の自主的・自発的な学習活動を活性化するため、豊富な資料や情報の収集やICTの有効活用、サークルやグループへの支援を行います。

〈具体的な取組〉

(1) 図書館・図書室の充実

(2) ICTを活用した学習の推進

(3) 生涯学習活動団体への活動支援

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
生涯学習活動団体の会員数	14,868人	15,000人	15,000人

4-3 関係機関とのネットワークの構築

市民の学習ニーズに対応し、多様な学習活動を総合的に推進するため、市民、地域、大学などの高等教育機関、民間団体、企業等とのネットワークの強化を図ります。

〈具体的な取組〉

(1) 大学や企業などとの連携強化

(2) 近隣自治体との連携強化

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
大学連携講座の講座数	17講座	20講座	24講座

令和元年度 推進計画進捗状況

《凡例》

施策2-1 ライフステージに応じた学ぶ機会の充実

計画に掲載している具体的な取り組みとその目的

(1) 乳幼児期における学習機会の充実（乳幼児が健やかに育める学習機会や子育て家庭を支援するような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
乳幼児を対象とした講座 【公民館・ふれあいセンター】	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	(1)公民館 実施数：16講座 実施講座：家族で楽しくリトミック、Let's！親子ピクス、親子でリズム遊び♪ 受講者数：2,200人 (2)ふれあいセンター 実施数：6講座 実施講座：ベビーおやこ 受講者数：1,454人	家族で楽しくリトミックは、母親だけでなく父親の参加もあった。 親と子の間だけでなく、参加者同士でコミュニケーションを図る機会を設けることができた。	○

事業名：第2次推進計画掲載事業名
【 】内は担当課名・実施施設名
事業概要：各事業の概要説明

事業実施の成果・特記事項：

事業の実施により得られた成果、改善・工夫した事項について記載。

自己評価：

1年目（平成30年度）実績を基準とした自己評価

◎	想定した以上の成果が得られた。または、前年度実績を上回る成果があった。
○	概ね想定した成果が得られた。または、前年度実績と同程度の成果があった。
△	想定した目標に到達できなかったところがあった。または、前年度実績を下回る成果しか得られなかった。
×	全般的に想定した目標に到達できなかった。または、前年度と比較し、大幅に下回る成果しか得られなかった。

※1 公民館・ふれあいセンター
中央公民館、知多公民館、鷹来公民館、
坂下公民館、東部公民館、
味美ふれあいセンター、高蔵寺ふれあいセンター、
南部ふれあいセンター、西部ふれあいセンター

成果指標と目標値

成果指標と目標値：計画に記載している成果指標と目標値、当該年度実績について記載。

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2019年度
親子で参加する講座の延受講者数（公民館、ふれあいセンター、青年の家、レディヤンかすがい）	5,733人	5,900人	6,100人	4,894人
ふれあい教育セミナーに取り組む小中学校等数	67セミナー	69セミナー	71セミナー	68セミナー
かすがい熟年大学の延受講者数	7,159人	7,500人	7,900人	7,173人

施策の評価

達成度（掲載事業数 26）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	5	各世代がそれぞれのライフステージに合わせて学ぶことができる様々な講座が実施されている。高齢期においても、社会の一員として活躍できるよう新たな学びの機会やUTTA 一 よ
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	21	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	

施策の評価：

当該年度の達成度（自己評価）についてまとめ、施策ごとの評価を記載。

基本目標 1 学びにつながるきっかけづくり

施策 1-1 生涯学習に関する情報提供の充実

(1) 多様な媒体を活用した情報の提供（生涯学習に関する情報を様々な機会や手法を活用して適時適切に発信し、学習のきっかけづくりにつなげる。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
生涯学習情報サイト「まなびや選科」 【文化・生涯学習課】	生涯学習情報をインターネット上で提供するシステムを活用し、公民館等で開催する講座やイベント情報を提供する。	アクセス件数：37,374件（前年度41,593件） 団体登録件数：146団体（うち新規登録5団体） 講師登録件数：294人（うち新規登録28人）	インターネットを通じて生涯学習活動を行う団体、講師、講座等の情報を発信し、市民に情報を提供することができた。	○
生涯学習情報誌「まなびや選科」 【文化・生涯学習課】	公民館等で開催を予定しているさまざまな講座やイベント情報を掲載した生涯学習情報誌を発行する。	発行回数：年8回（隔月6回、市民講座特集号2回） 仕 様：A4 発行部数：各1,500部 （残部数調査を行い、2,000部から1,500部に減らした。） 主な内容：講座情報、イベント・展示情報 配 布 先：市内公共施設、大垣共立銀行、中部大学 等	講座受講者へのアンケートでは、情報源として広報春日井が圧倒的多数を占めており、インターネットを利用した申し込みも増えていることから、令和元年度末で廃止することとした。	○
さまざまな情報媒体を活用した情報の発信 【広報広聴課】	ツイッター、フェイスブックなどのSNSやスマートフォンアプリを活用して、講座をはじめとした生涯学習に関する情報の発信を推進する。	市民一人ひとりの求める情報を的確に提供できるよう、春日井市ホームページや公式アプリ「春ポケ」で講座情報、イベント情報を提供した。 HPアクセス件数：9,535,913件（前年より1,480,123件増） イベントカレンダー：47,233件（前年より9,572件増）	市ホームページや市公式アプリ「春ポケ」において情報発信を行い、広く講座情報等の周知ができた。 アクセス件数も増加している。	○
広報春日井 【広報広聴課】	生涯学習に関する情報を始め、市の魅力、市政情報に関するきめ細かな情報を発信するため、広報誌を発行する。	生涯学習に関する情報を始め、市政全般の情報や市の魅力を幅広く市民へ発信するため、広報誌を作成・発行した。 発行回数：年24回 発行日：毎月1日号及び15日号 仕 様：A4【1日号：全面カラー、15日号：2色刷り】	公共施設や金融機関、郵便局やコンビニエンスストアなど、幅広い機関へ設置し、情報が取得できる環境を整備している。また、令和元年度から新たに医師	○

		発行部数：98,000部 主な内容：市のお知らせや催し、講座情報、市の魅力情報等 配布先：町内会加入世帯への配布の他、公共施設や金融機関、郵便局、医療機関、コンビニエンスストアなどに設置	会加入の医療機関へ設置を実施している。	
--	--	---	---------------------	--

(2) 生涯学習活動団体の情報の提供（市民が気軽に生涯学習活動に参加できるよう、グループやサークルの情報を提供する。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
生涯学習情報サイトへの団体登録 【文化・生涯学習課】	公民館やふれあいセンター等で活動している団体の活動内容等をインターネット上で提供する。	「講師情報」「団体・サークル情報」「講座情報」などについてインターネットを通して広く提供した。 団体登録件数：146団体（うち新規登録5団体） アクセス件数：37,374件（前年度 41,593件）	生涯学習活動を行う団体の情報を発信し、インターネットを通じて情報提供できた。	○
生涯学習情報誌での活動紹介 【文化・生涯学習課】	生涯学習情報誌において、一緒に学ぶ仲間を募集している団体の活動紹介を掲載する。	実施なし	講座情報のみで、活動情報の紹介はできなかった。 情報誌は、令和元年度末で廃止。	×

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2019年度
生涯学習情報誌「まなびや選科」の認知度	32.3%	37.0%	42.0%	2021年度に測定
生涯学習情報サイト「まなびや選科」の認知度	32.3%	37.0%	42.0%	2021年度に測定

施策の評価

達成度（掲載事業数 6）		評価
◎	全般的に想定した以上の成果が得られた。	0
○	全般的に、概ね想定した成果が得られた。	5
△	想定した目標に到達できなかったところがあった。	0
×	全般的に想定した目標に到達できなかった。	1

施策 1-2 学習活動の多様なきっかけの提供

(1) 相談窓口機能の充実（学習機会や生涯学習活動を行うグループ、サークルに関すること、学習成果の活かし方など様々な相談を行うことができる窓口の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
生涯学習指導員 【文化・生涯学習課】	市民からの生涯学習に関する相談への対応や学習情報の提供を行う生涯学習指導員を配置する。	生涯学習指導員配置状況 文化・生涯学習課 2人 松原学習センター 3人	生涯学習指導員を配置した。市民からの相談がなく、事業の企画・助言、講座の講師等が指導員の主な業務という状況が続いている。	○

ボランティア相談及び市民活動・NPO相談 【市民活動支援センター】	ボランティアや市民活動を支援するため、ボランティアの紹介や市民活動に関する相談事業を実施する。	(1)ボランティア相談 火曜日～金曜日 午前9時～正午、午後1時～5時 相談件数 2,518件 (2)市民活動・NPO相談 (職員、市民活動支援に優れた相談員) 火曜日～日曜日 午前9時～午後5時 (相談内容により予約制) (NPOスタッフ) 火曜日～金曜日 午前9時～正午、午後1時～4時 第2土曜日 午前9時～午後1時 相談件数 51件	NPOスタッフによる相談時間の拡充を行った。 今後、アウトリーチを行うなど積極的に働きかけを行う。	○
---	---	---	--	---

(2) 生涯学習のきっかけとなる講座の開催（生涯学習が身近なものと感じ興味関心を持つことができるよう気軽に参加できる学習機会を提供する。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己評価
初心者向け講座 【公民館・ふれあいセンター等】	生涯学習を始めるきっかけとなるよう、さまざまな分野の初心者向けの講座を実施する。	公民館・ふれあいセンターにおいて、市民に利用しやすい学習環境を作るため、語学、健康、音楽、芸術など幅広い分野で、初心者向けの講座を実施した。 (1)公民館 実施数：38講座 実施講座：大人の趣味づくり講座、初歩のデッサン、気軽に始める写経、初めて学ぶカラーセラピーほか 受講者数：1,835人 (2)ふれあいセンター 実施数：16講座 実施講座：手ぶらで学べる！「着付けレッスン1年生」、今日から始める若返り運動教室、風の吹くまま、気の向くままに「お手軽、お気軽、お気楽、お絵描き！！」ほか 受講者数：1,022人 (3)青年の家 実施数：8講座 実施講座：初心者のためのクラシックギター入門講座、気軽に歌おうボイストレーニング入門講座 受講者数：745人	興味はあるが受講するまでに至らない人が申し込みやすくなるよう、タイトルに「大人の趣味づくり講座」、「気の向くままに」、「お手軽」といった言葉を盛り込み、興味をそそるようなサブタイトルをつける等、企画内容だけでなくタイトルからも市民の目を引くよう工夫した。	○

		(4)市民による市民のためのチャレンジ講座 実施数：6講座 実施講座：書道、マジック、ミニテニス、水墨画、 ピラティス、フォークダンス 受講者数：80人		
--	--	--	--	--

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2019年度
生涯学習に取り組んでいる人の割合	65.0%	70.0%	75.0%	2021年度に測定

施策の評価

達成度（掲載事業数 3）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	0	<p>NPO法人と協力し、実際に市内で活動している人が相談員となることで、市民に寄り添った、より充実した相談体制がとられている。</p> <p>また、生涯学習を始めるきっかけとなるような初心者向け講座は、様々な分野のものを企画し、多くの参加を得ている。施設で活動している団体が講師を務める講座は、団体のモチベーションアップにもつながり、学習意欲の向上に寄与している。</p> <p>今後もニーズを捉え、より一層の充実を図り、多くの市民が参加できる講座が実施されることを期待する。</p>
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	3	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	

基本目標 2 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

施策 2-1 ライフステージに応じた学習機会の充実

(1) 乳幼児期における学習機会の充実（乳幼児が健やかに育める学習機会や子育て家庭を支援するような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
乳幼児を対象とした講座 【文化・生涯学習課】	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	講師発掘・登用事業で乳幼児を対象とした講座や子育て術についての講座を行った。 実施数：3講座 実施講座：5分でスヤスヤ～赤ちゃん寝かしつけ講座 ほか 受講者数：49人	母親同士の情報交換の時間を設け、交流を図ることができた。	○
乳幼児を対象とした講座 【公民館・ふれあいセンター】	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	(1)公民館 実施数：16講座 実施講座：家族で楽しくリトミック、Let's！親子ピクス、親子でリズム遊び♪ 受講者数：2,200人 (2)ふれあいセンター 実施数：6講座 実施講座：ベビー&キッズ♪リズム遊び、キッズ運動教室、おやこでいっしょにABC！ ほか 受講者数：1,454人	「家族で楽しくリトミック」は、母親だけでなく父親の参加もあった。 親と子の間だけでなく、参加者同士でコミュニケーションを図る機会を設けることができた。	○
乳幼児を対象とした講座 【保育課（子育て支援センター）】	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	(1)育児講座 未就園児とその保護者を対象に、本の読み聞かせや親子での遊びなどの講座を通じ、育児に必要な知識を提供した。また、保護者を対象に事故の応急処置法の指導を行った。 ・5回開催 参加者 132組282人 (2)親子教室 遊びを楽しみながら親子が触れあう時間を持ったり、子育ての不安や悩みを話し合える場を作ったり、母親の友達作りを支援した。	親子が触れあう時間を持ったり、子育ての不安や悩みを話し合える場を作ったり、母親の友達作りを支援できた。 利用者に寄り添った子育て支援ができるよう、複数回参加できるようにした。	○

		<ul style="list-style-type: none"> ・げんきっ子教室 34回開催 参加者1,539人 ・子育てサロン 22回開催 参加者248組549人 ・お父さんといっしょ 2回開催 参加者30組60人 		
乳幼児を対象とした講座 【子育て子育て支援館】	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	<p>子育て家庭の育児不安を和らげ、よりよい親子関係を築くために、読み聞かせや体操等を通して親子で触れ合う機会を作るとともに、子どもや親同士の仲間づくりのための「出会いの場」を設けた。</p> <p>内 容：読み聞かせ（毎週金曜日・計46回） げんきっ子体操（火～金曜日・計171回） 親子教室「ふれあい広場」（毎週木曜日・計40回） 育児講座（3講座・計14回） 母親のリフレッシュ講座（2回） つくってあそび（1回） 子育て教室（8回） 親子エアロビクス（1回） 豆まき（1回）</p> <p>参加者数：計 13,830人</p>	次月のイベント案内カレンダーを作成し、館内外に周知を図るとともに、応募数に満たない講座については、自由来館者へ参加を呼びかけた。	○
乳幼児を対象とした講座 【保育課（交通児童遊園）】	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	<p>子育て家庭の育児不安を和らげ、よりよい親子関係を築くため、子どもや親同士の仲間づくりのための「出会いの場」を設けた。</p> <p>実施数：31回</p> <p>内 容：体操、手遊び、リズム遊び、親子ふれあい遊び、簡単な制作あそび、誕生会、季節行事など</p> <p>参加者数：1,757人（813組）</p>	トレーニングコースを利用した「交通安全教室」、外部講師を招いた「親子健康教室」を行い、保護者と子ども向けに啓発する機会を設けた。	○
乳幼児を対象とした講座 【図書館】	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する	<p>乳児期からの読書活動を支援するため、また家庭における読み聞かせを継続するため、親子向けの読みきかせを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート 実施回数：60回、参加者数：2,428組 ・赤ちゃんのためのおはなし会 実施回数：図書館18回、西部ふれあいセンター10回 参加者数：図書館932人、西部ふれあいセンター304人 ・紙芝居とお話を聞く会 実施回数：132回、参加者数：1,282人 ・すくすく読み聞かせ会 実施回数：11回、参加者数：264人 	ブックスタートでは、絵本を手渡す際に赤ちゃんのためのおはなし会等のパンフレットを合わせて渡し、おはなし会の周知に努めた。	○

<p>パパママ教室 【子ども政策課】</p>	<p>妊婦とその夫を対象に、出産や育児等について理解を深めるよう保健師や助産師が指導を行う教室を開催する。</p>	<p>(1)パパママ教室 対象：市内在住の妊婦（妊娠6か月以降）とその夫 2回1コース、毎月、総合保健医療センターで実施 参加者数：385人（パパ99人、ママ286人） (2)日曜パパママ教室 対象：市内在住の初産婦（妊娠7か月以降）とその夫 毎月1回、総合保健医療センターで実施 参加者数：720人（パパ360人、ママ360人） ※日曜パパママ教室では、先輩パパを教室参加者の中から募り、育児体験の講話を実施している。</p>	<p>参加者のアンケート結果では、「出産前後や育児に対するイメージが持てた」「（夫から）妊娠中から産後の大変さがわかった。家事や育児に協力したい」という声が多かった。</p>	<p>◎</p>
<p>親支援事業（カンガルーひろば）【子ども政策課】</p>	<p>育児不安を抱える母親同士のグループを対象にグループミーティングを行いながら、問題解決の糸口が見つかるよう支援する。</p>	<p>育児不安を抱える母親を対象に、育児不安の軽減、育児スキルの向上、孤立感の解消と仲間づくり等を目的として、育児指導やグループミーティングを行う。 対象：7か月児から1歳頃の母子 定員：20組 1グループあたり2回、4グループ実施 スタッフ：臨床心理士、保健師、保育士、歯科衛生士 参加者数：実人数58人（延べ105人）</p>	<p>講義形式を取り入れるなど、実施内容を変更し、参加できる人数を増やした。</p>	<p>◎</p>
<p>育児相談 【子ども政策課・保育課 ほか】</p>	<p>子育ての不安や孤立感が軽減するよう、電話や面接、Eメールで子育ての不安や悩みの相談を受ける。</p>	<p>主に就学前児童の親の育児不安や孤立感を解消するよう、乳幼児の子育てに関する相談に対し、助言や情報提供を行った。 (1)子育て子育て総合支援館 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～18：00 相談件数：電話57件、面接266件、合計323件 (2)子育て支援センター 実施日時：月曜日～金曜日 9：00～16:00 電話相談：25件 面接相談：72件 (3)児童センター 実施日時：火曜日～日曜日 9：3～16：00 相談件数：40件 (4)東部子育てセンター 実施日時：月曜日～土曜日 10：00～16：00 相談件数：220件 (5)交通児童遊園 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～18：00 相談件数：35件</p>	<p>施設に来所したついでに気軽に相談できるような体制を整えているほか、東部子育てセンターにおいては、月1回専門家によるアレルギー相談や発達相談などを行った。 自分からは話しかけられない保護者に寄り添い、話しかけやすい雰囲気づくりに努めた。</p>	<p>◎</p>

		(6)すくすくEメール相談 相談件数：11件 このほか、神屋子育て支援センター、グルッポふじとうでも 育児相談を実施した。		
--	--	--	--	--

(2) 青年期における学習機会の充実（青少年が豊かな人間性、社会性、公共性を身につけることができるような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
土曜チャレンジ・アップ教室 【学校教育課】	小学生が土曜日を有意義に過ごす機会を提供するため、大学や地域の企業等の協力により、小学校においてスポーツや理科の実験等を行う。	子どもたちの自主性を高め、幅広い成長を促すとともに可能性を広げるために、地域の多様な経験や技能を持つ人材・大学・企業等の協力により、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現する。 実施回数のうち半数以上の講座に関しては、教員を目指す中部大学の学生が講師となり講座の企画、運営を行った。 実施校：11校 実施回数：64回 参加者数：1,406人（児童1,151人 保護者255人）	子どもたちに対し、体験の機会を提供し、有意義な土曜日をすごしてもらうことができた。	○
わいわいカーニバル 【子ども政策課】	さまざまな人との関わりや体験を通して、子どもが持つ自由で伸びやかな創造力を引き出す子どもの祭典を開催する。	多くの市民団体や企業等の協力により、子どもたちがさまざまな人たちとの交流や体験を行うことができる催しを開催した。 開催日：5月12日（日） 会 場：落合公園、ふれあい緑道 参加人数：5万人 行 事：74事業 参加団体：60団体	三ツ又ふれあい公園を会場から外し、来場者が落合公園内で集中的に楽しめるよう、また効率的な運営が行えるようにした。新規事業を取り込むことで、来場者の満足度を高めるよう工夫した。	◎
子ども・親子向け講座【子育て子育て支援館】	子どもや親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。	児童の健康を増進し、情操を豊かにするよう子どもや親子向けの講座を実施した。 内容等：子ども講座、卓球教室、ヒップホップ、工作教室、にこにこ劇場、伝承遊び、ミニコンサート、おいしいクッキング、ファミリークッキング、親子deクッキング、げんきっ子フェスタ・げんきっ子会議 参加者数：計 1,653人	参加希望が多いため、新規講座として「親子deクッキング(4講座)」を設けたところ、好評であった。	○

<p>子ども・親子向け講座【交通児童遊園】</p>	<p>子どもや親子を対象に、将棋、工作、手品、和太鼓を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。</p>	<p>児童に健全な遊びの機会を与え、体験する楽しさ、創造する楽しさを味わえるようにする。 実施数：18講座 実施講座：おいでよ交通児童遊園、交通児童遊園フェア、将棋教室、七夕会、陶芸教室、手品教室、子ども演劇会、エコ工作活動、冬の工作教室、クリスマス会、お楽しみ演奏会、和太鼓体験教室、自転車乗り方教室 参加者数：2,233人</p>	<p>自転車乗り方教室を今年度から開催し、好評を得ている。</p>	<p>○</p>
<p>子ども・親子向け講座【文化・生涯学習課】</p>	<p>子どもや親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。</p>	<p>大学連携講座や講師発掘・登用事業で小学生または親子を対象に講座を実施した。 実施数：大学連携講座2講座、講師発掘・登用事業3講座 実施講座：食べられる!色も変わる!?不思議なビーズをつくろう!、小学生のためのプログラミング講座 ほか 受講者数：81人</p>	<p>大学の人材・設備を活用するなど、子どもや親子を対象に学びの機会を提供した。</p>	<p>○</p>
<p>子ども・親子向け講座【公民館・ふれあいセンター】</p>	<p>子どもや親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。</p>	<p>小学生または小学生とその保護者を対象に体験型の講座を実施し、子どもの想像力を引き出し、親子のふれあいの時間が持てるような講座を実施した。 (1)公民館 実施数：48講座 実施講座：親子で一緒に世界に一つだけの秘密基地を作ろう 夏休みこどもワークショップ ほか 受講者数：1,941人 (2)ふれあいセンター 実施数：19講座 実施講座：「親子でスイーツ」教室、親子で体験!楽しい手打ちそば作り ほか 受講者数：1,233人</p>	<p>子どもや親子を対象に、様々な学びの機会を提供することができた。また、親子での講座を実施することで、若い世代に施設を利用してもらえる機会をつくることができた。</p>	<p>○</p>
<p>子ども・親子向け講座【青年の家】</p>	<p>子どもや親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。</p>	<p>子ども（小学生）対象の講座を実施した。親子対象ではないが保護者同伴可とし、来館した保護者には調理や工作等に参加してもらい親子のふれあいの機会も設けた。 実施数：1講座 実施講座：キッズ!アウトドアわくわく体験講座 受講者数：55人</p>	<p>前年の2倍近い参加があった。保護者の参加もあり、親子での学びとふれあいの時間を提供することができた。</p>	<p>◎</p>

子ども・親子向け講座 【男女共同参画課】	子どもや親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。	親子で参加できる講座を実施し、親子のふれあいの機会を設けた。 実施数：3講座 実施講座：夏休み親子料理教室、夏休み段ボール工作教室～ダンボールハウスを作ろう～、夏休み段ボール工作教室～すもう盤を作ろう～ 受講者数：72人	夏休みなどの子どもたちが参加しやすい日程で開講することで、幅広い年齢層の市民に利用してもらうことができた。	○
-------------------------	---	---	---	---

(3) 成人期における学習機会の充実（家庭生活の充実や生活課題の解決に資するような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
ふれあい教育セミナー 【文化・生涯学習課】	親のあり方や家庭教育の大切さ等を学習する「ふれあい教育セミナー」に対して補助することで、家庭教育力と地域教育力の向上を図る。	親のあり方や家庭教育の大切さ等を学習する講座を充実させ、家庭教育力と地域教育力の向上を図った。 実施団体数：68団体（認定こども園1園、私立保育園4園、幼稚園11園、小中学校52校） 実施回数：370回 主な講座：親と子のコミュニケーション、性教育～子どもへの伝え方～、家庭で役に立つ食中毒防止知識について、子育てに役立つ収納術、地域の安全についての情報交換、スマホ・ケータイ安全教室 ほか ※保護者等が家庭教育の意義と役割を学び、家庭教育や地域教育の充実を図るという目的に合った事業を明確にするため、補助対象事業を見直し、要綱改正を行った。（令和2年4月1日施行）	子育てに関する学びの場を提供するとともに、家庭、学校、地域の交流・連携を深めることができた。	○
家庭介護者研修 【地域福祉課】	要介護者等を在宅で介護するなど、介護に関心がある人に、家庭での介護に関する知識や技術を習得する機会を提供する。	家庭での介護に関する知識や技術を習得する機会を設ける。 実施数：2日間12講座 実施内容：家庭介護を担う人のこころがまえ、高齢者介護技術入門④～食事介助～、認知症の方の基礎理解とケア、家庭でできる脳生き生きトレーニング～認知症予防に向けて～、高齢者のための福祉用具、高齢者介護技術入門⑥～車椅子介助の基本～など 受講者数：33人	実技をまじえた講座を実施することで、「より実践的な介護に関する知識や技術を習得できた。」と受講者から好評を得ることができた。	○

認知症サポーター養成講座 【地域福祉課】	認知症に関する正しい知識の普及や認知症高齢者等を介護する家族等の支援を図るため、認知症サポーター養成講座を開催する。	小中学生、地域住民等の多様な世代に対し、認知症に関する講座を実施した。 開催回数：61回 受講者数：2,581人	世代に応じた内容で講座を開催し、認知症に関する正しい知識を普及することができた。	○
消費生活講座 【市民活動推進課】	悪質商法による被害を未然に防止するための知識や被害にあった場合の対処法等を学べる講座を開催する。	消費生活に関する諸問題について正しい知識を身に付け、適切な問題解決を図れるように講座を開催した。 実施数：20講座 実施講座：派遣講座（16講座）、市等主催講座（4講座） 受講者数：602人	老人会等の団体を中心に、消費生活相談員など専門家を派遣しており、消費者被害の軽減や防止に役立てることができた。	○

(4) 高齢期における学習機会の充実（充実した日々を過ごし、いつまでも元気に暮らすことができるような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
かすがい熟年大学 【文化・生涯学習課】	高齢者が充実した余暇時間を過ごすとともに学習を通じて健康で生きがいのある生活が送れるよう学習の場を提供する。	実施数：5コース 各15回（開講式・閉講式含む） 内容：生活、歴史、文学、健康科学、芸術文化の5コースを実施。 参加者数：延べ7,173人	専門性の高い学びのニーズに対し、学習機会を提供できた。	○
高齢者学級 【公民館】	60歳以上の方を対象に、身近な施設で歴史、芸能、健康づくりや介護予防など幅広く学べる場を提供する。	(1)中央公民館 和楽路学級 9回 延べ受講者数 200人 (2)知多公民館 ことぶき学級 10回 延べ受講者数 181人 (3)鷹来公民館 えびす学級 10回 延べ受講者数 341人 (4)坂下公民館 源敬学級 6回 延べ受講者数 132人 (5)東部公民館 はいから学級 10回 延べ受講者数 649人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部中止した。	地域の高齢者に対し、幅広く学ぶことができる機会を提供できた。 令和2年度から、高齢者学級を廃止し、年齢問わず受講できるアラカルト形式の講座を実施する。	○

高齢者の就労支援 【地域福祉課】	働く意欲ある高齢者の就労を後押しするため、必要な知識や技能が習得可能な講座の開催やシルバー人材センターとの連携を推進する。	シルバー人材センターに委託して、高齢者の健康増進や生きがいづくりにつながる講座を開催した。 開催回数：12回 受講者数：133人	シルバー人材センターの会員が講師を務めることで、会員の持つ技能や知識を生かす場を提供できた。	○
介護予防講師派遣事業 【地域福祉課】	地域の概ね10人以上の高齢者が定期的に集まる場に、専門知識を持った講師を3か月程度派遣し、地域での介護予防の取組を支援する。	派遣回数 介護予防活動グループ化事業 126回 介護予防活動普及事業 53回	講師の派遣について、3か月程度の派遣のほか、活動充実を図るため1回限りの派遣も実施するよう内容を拡充した。講師派遣事業の実施後、受講者が主体となり、複数の団体が自主活動として継続できている。	○
Uターン育児塾 【子ども政策課】	祖父母世代に新しい育児事情の学習機会を与え、その立場から育児参加をしてもらい、出産・育児支援の充実を図る。	もうすぐ孫が生まれる人、または1歳未満の孫がいる祖父母を対象に、育児教室を行う。祖父母は主体的に育児を担うのではなく、新米パパママのサポーターとして活躍することを目的に実施した。祖父母世代のみでなく、パパ、ママ同伴も参加可能とした。 対象者：もうすぐ孫が生まれる人、または1歳未満の孫がいる人 内容：保健師の講話・育児体験（沐浴実習等） 実施回数：4回 参加者数：50人	育児のサポートができるよう、祖父母世代に現在の育児を学びなおしてもらい機会を提供できた。	○

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2019年度
親子で参加する講座の延受講者数（公民館、ふれあいセンター、青年の家、レディアンかすがい）	5,733人	5,900人	6,100人	4,894人
ふれあい教育セミナーに取り組む小中学校等数	67セミナー	69セミナー	71セミナー	68セミナー
かすがい熟年大学の延受講者数	7,159人	7,500人	7,900人	7,173人

施策の評価

達成度（掲載事業数 26）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	5	各世代がそれぞれのライフステージに合わせて学ぶことができる様々な講座が実施されている。高齢期においても、社会の一員として活躍できるよう新たな学びの機会やUターン育児塾のような学び直す機会もあり、今後も世代に応じた学びの機会を提供できるよう事業を進められたい。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	21	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	

施策 2-2 現代的・社会的課題やニーズに対応した学習機会の充実

(1) 夜間や休日に開催する講座の充実（多様なライフスタイルに対応した学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
夜間や休日における講座の開催 【文化・生涯学習課】	公民館やふれあいセンター等において、平日の夜間や土曜、日曜、祝日に開催するさまざまな分野の講座の充実を図る。	講師発掘・登用事業で、平日に働く人も受講できるように、休日や夜間に講座を実施した。 実施数：2講座 実施講座：LGBTって何？いろいろな性別の形を知ろう！ ほか 受講者数：50人	参加者の3割が20～40代で、若い世代の方に参加してもらうことができた。	○
夜間や休日における講座の開催 【公民館・ふれあいセンター・青年の家】	公民館やふれあいセンター等において、平日の夜間や土曜、日曜、祝日に開催するさまざまな分野の講座の充実を図る。	平日に働く人も受講できるように、休日や夜間に講座を実施した。 (1)公民館 実施数：48講座 実施講座：リフレッシュヨガ入門、ハンギングバスケット作り、生活を彩るフラワーアレンジメント ほか 受講者数：1,289人 (2)ふれあいセンター 実施数：28講座 実施講座：美ジネスマンのための美肌マネジメント研修、「子どもが育つおこづかいのあげ方」講座 ほか 受講者数：1,335人 (3)青年の家 実施数：2講座 実施講座：初心者のための太極拳入門講座 ほか 受講者数：121人	アンケート調査で「休日の開催で参加しやすかった。」との意見が多くあり、また、若い世代の参加者が増加した。 昼間に開催して好評だった講座を夜間にも開催したところ、新規の受講者を獲得することができた。	○
夜間や休日における講座の開催 【男女共同参画課】	公民館やふれあいセンター等において、平日の夜間や土曜、日曜、祝日に開催するさまざまな分野の講座の充実を図る。	平日に働く人も受講できるように、休日や夜間に講座を実施した。 実施数：19講座 実施講座：男の料理塾、夏休み親子料理教室、安心して老後を生きるための「エンディングノート」の書き方を学ぶ、正しい「遺言書」の書き方を学ぶ ほか 受講者数：390人	休日に開催することにより、多くの人に参加していただくことができた。	○

(2) 障がいのある人が学べる機会の充実（障がいのある人が地域社会の中で多様な学習活動が行うことができるよう啓発活動の推進、学習の場の提供を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
障がい理解のための啓発講演会 【障がい福祉課】	障がいのある人も社会の一員として活動に参加できる環境を醸成するため、障がいに対する正しい理解と認識を深める講演会を開催する。	講演：障がいのある人が安心して自立・共生できるまちづくり～地域の絆、みんなの笑顔～ 日時：12月6日（金）午後1時30分～3時30分 場所：グリーンパレス春日井（第1会議室） 講師：鎌田 敏氏 参加者数：63人	アンケート結果として約9割が「とてもよかった」「よかった」と回答しており、非常に高い満足度だったと言える。障がいがある方との共生社会、地域とのつながりについて考える場を提供することができた。	○
障がい者を対象とした講座 【総合福祉センター】	パソコンの操作方法や軽運動など障がいの特性に配慮した講座を開催する。	パソコン講座や視覚障がい者スマートホン講座を実施し、パソコンやスマートホンの操作方法を、おりがみ教室や運動教室等を実施し、手先を使ったり誰でも簡単にできる運動の機会を設けた。 実施数：12講座 実施講座：試してなっとく！これで足腰大丈夫体操、創作おりがみ教室、視覚障がい者スマートホン講座、実践パソコン教室、元気パワーアップ運動教室 受講者数：802人（うち障がい者71人）	「視覚障がい者パソコン講座」を「視覚障がい者スマートホン講座」に名称を改めて実施したり、簡単にできる体操教室や手先を使う「おりがみ教室」を実施したりしたことで、新たな障がい者の参加が得られた。	○
障がい者図書サービス 【図書館】	障がい者に学ぶ機会を提供するため、録音図書や点字図書の製作、ボランティアによる対面読書、図書無料郵送貸出を行う。	音訳技術を学ぶ講座を実施し、受講生に録音図書の製作、対面読書を行う技術を身につけてもらい、ボランティアとして録音図書・対面読書の実施に携わってもらった。また、点字図書についてもボランティアに点字図書製作に携わってもらった。 ・実施講座：音訳技術講習会（初級編） 受講者数：6人 音訳デジタル録音技術講習会 受講者数：46人 ・製作数等 デージー図書：25種 点字データ：75種 対面読書：104回 実施	音訳技術講習会（初級編）受講者6人全員が、音訳ボランティア団体に入会し、録音図書の製作や対面読書の実施に携わることとなった。	○

(3) 就労支援や職業能力を高める学習機会の充実（職業上の知識・技能の習得など生涯を通じて自らの職業能力の向上につながる学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
就職支援に関するセミナー 【経済振興課】	求職者の就業につなげるため、就職活動に必要な知識を得るセミナーを開催する。	求職者が企業採用担当者と接するために必要な知識の取得を図り、就職活動に活かして就業につなげるためのセミナーを就職フェア内で開催する計画だったが、就職フェアの運営方法を見直す中で、令和元年度は実施を取りやめた。	なし	×
合同就職説明会 【経済振興課】	市内企業への就業に関心のある求職者の就業を支援するため、商工会議所が開催する合同就職説明会を支援する。	求職者が就職先を探すにあたり、業界研究や企業研究を行うために必要な知識の取得を図り、市内企業への就業につなげるための合同就職説明会を開催した。 就職フェアin春日井&小牧 実施数：1回 参加者数：121人 就職フェアを通じた採用試験応募件数：34社 138人	前年に比べ、就職フェアを通じた採用試験への応募件数が増加しており、市内企業への就業を支援することができた。	○
ママインターン 【企画政策課】	就労を希望する母親を支援するため、市内企業等におけるインターンシップを通じて子育てをしながら働くことを体験する機会を提供する。	(1)ママインターン 実習期間：春期 6月17日（月）～7月16日（火） 秋期 10月1日（火）～10月30日（水） 参加者数：10人（春期5人、秋期5人） 受け入れ事業所：株式会社イマヨシ他8事業所 (2)お仕事見学バスツアー 日 時：春期 5月30日（木） 夏期 8月22日（木） 参加者数：26人（春期12人、夏期14人） 見学事業所：春期:ホンダロジコム株式会社、ベティさんの家 夏期:CCNet春日井局、ナフコ不二屋岩野店	参加者に、働く体験を通じて自分の新しいライフスタイルについて考えてもらう機会を提供できた。	○

(4) 情報化・国際化社会に対応した学習機会の充実（高度情報化への対応や豊かな国際感覚を育むための学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
ICTの活用に関する講座 【公民館・ふれあいセンター】	インターネット、タブレット、デジタルカメラなどの操作方法や活用方法を始めとした、ICTに関する講座を実施する。	(1)公民館 実施数：9講座 実施講座：持ち込みパソコン講座～ワード入門、子ども向けロボットプログラミング教室ほか 受講者数：445人 (2)ふれあいセンター 実施数：4講座 実施講座：シニアのための持ち込みタブレット講座 ほか 受講者数：169人	インターネットやデジタル通信機器等について理解を深める機会を提供できた。	○
外国の文化にふれる講座 【文化・生涯学習課】	多文化共生社会の実現に寄与するため、外国文化の紹介や体験、親子で楽しく学ぶ外国語などの講座を実施する。	大学連携講座 実施数：2講座 実施講座：現代中央アジア論～旧ソ連・遊牧文化・イスラーム～、英語は誰のもの～「国際英語論」入門 受講者数：180人	他国の文化について理解を深める機会を提供できた。	○
外国の文化にふれる講座 【公民館・ふれあいセンター】	多文化共生社会の実現に寄与するため、外国文化の紹介や体験、親子で楽しく学ぶ外国語などの講座を実施する。	(1)公民館 実施数：3講座 実施講座：はじめての韓国語 ほか 受講者数：255人 (2)ふれあいセンター 実施数：5講座 実施講座：おやこでいっしょにABC!①②、旅先ふれあい英会話基礎講座 ほか 受講者数：413人	初めての韓国語講座では、受講生を中心に生涯学習活動団体が結成され、勉強会を継続している。 講師発掘・登用事業において好評だった講師にふれあいセンターでの講座講師を依頼し、新たな講師の活躍の場を提供することができた。	○
外国の文化にふれる講座 【市民活動支援センター】	多文化共生社会の実現に寄与するため、外国文化の紹介や体験、親子で楽しく学ぶ外国語などの講座を実施する。	日本語の理解が十分でない外国人市民を対象に、会話等の日本語を学習する日本語教室を開催した。また、琴や書道等の日本の伝統文化を体験する講座を開催した。 (1)日本語教室 年間3期に分け、金曜日及び日曜日に各10回開催。 開催回数：53回（新型コロナウイルス感染拡大防止のため7回中止した。）、伝統文化体験講座3回 参加者数：2,392人	多くの受講者が教室に参加し、日本語習得及び日本に対する理解の機会を提供できた。 新たに小中学生を対象とした子どもの日本語教室を開始した。	○

		(2)子どもの日本語教室 年間3期に分け、日曜日に各10回開催。 開催回数：26回（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4回中止した。） 参加者数：93人		
わくわく！ふれあいワールド 【市民活動支援センター】	多文化共生を促進するため、市内に住む外国人との交流や異文化の紹介・体験を行うわくわく！ふれあいワールドを開催する。	異文化への理解を深めるとともに、外国人市民と日本人市民との交流を図るため、市内で活動する国際交流団体により設立された春日井市国際交流ネットワークに委託し、「わくわく！ふれあいワールド」を実施した。 開催回数：5回（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回中止した。） 実施内容：「中国文化を体験しましょう！」「夏休み親子イベント いろんな国の遊びで世界を楽しもう」など外国文化の紹介や異文化体験のイベントを開催 参加者数：379人 ※わくわく！ふれあいワールド in 春日井まつりは、参加者数を把握していないため参加者数から除く	外国文化の紹介と異文化体験ができるイベントを開催したことで、交流を図ることができた。	○

(5) 環境に関する学習機会の充実（環境に関する正しい認識を持ち、環境に配慮した生活を送るよう環境学習を推進する。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
市民環境アカデミー 【環境政策課】	地球温暖化、省エネルギー、身近な自然環境やその保全活動等をテーマに、座学やフィールドワーク、ワークショップを通じて学ぶ機会を提供する。	地球温暖化、リサイクル、身近な自然環境やその保全活動などをテーマに、座学やフィールドワーク、ワークショップを通して学んだ。 受講者：45人 内 容：太陽と惑星と生命と、パソコンの分解からリサイクルを学ぶ～レアメタルを探そう～、空気・水の環境事業を創造する春日井工場エコツアー、発光生物が照らす世界、伊勢湾のマイクロプラスチック汚染の現状、私たちのための、私たちによる環境まちづくり～学びを行動に～	過去の修了者に対し活動の場（春日井まつりでのボランティア）を提供するなど受講後の活動を支援した。 座学だけでなく、ワークショップを取り入れ主体的に環境について考えることができるようプログラムを組んだ。	○

<p>子ども環境アカデミー 【環境政策課】</p>	<p>子ども（小学4～6年生）とその保護者を対象とし、家族ぐるみで地球温暖化、自然環境保全、循環型社会等について総合的、横断的に学習する機会を提供する。</p>	<p>子ども（小学4～6年生）とその保護者を対象とし、家族ぐるみで環境について学び、考えることで環境まちづくりの基盤となる人材の育成を図った。 受講者：20組44人 内 容：リサイクルって大切なんだ！～家電製品の解体現場を見てみよう～、ビンって、どうやって生まれ変わるの？～ガラスでキーホルダーを作ろう～、川越火力発電所見学エコツアー～電気の生まれる瞬間を見に行こう～、秋の自然環境学習会～春日井の自然と触れ合おう～、サボテン博士と学ぶ環境生態学～市の特産品「サボテン」について学ぼう～</p>	<p>対象を親子とすることで家族ぐるみで環境について考えてもらう機会が提供できた。環境について横断的に学ぶことができる内容とするため、環境部各課担当者からなる担当者会議を設け内容を検討した。</p>	<p>○</p>
<p>エコライフセミナー 【環境政策課】</p>	<p>環境情報の提供と環境意識の高揚を図るため、地球温暖化や省エネルギーなど身近な視点から環境問題を考える講座を実施する。</p>	<p>環境情報の提供と市民の環境意識の高揚を図ることにより、環境まちづくりを推進するため実施した。 (1)夏のエコライフセミナー 「竹で遊ぼう！～水でっぼう作り～」 日 時：8月7日（水） 場 所：文化フォーラム春日井 交流アトリウム、市民広場 参加者：市内小学生とその保護者18組41人 (2)エコライフセミナー「水力発電を体感しよう！」 日 時：10月6日（日） 場 所：電源開発株式会社中西地域制御所 参加者：市内小学生とその保護者7組16人</p>	<p>工作や実験を取り入れ、子どもに関心をもってもらえるよう配慮した。 対象を親子とすることで家族ぐるみで環境について考えてもらうことができるよう配慮した。</p>	<p>○</p>
<p>市民環境フォーラム 【環境政策課】</p>	<p>環境対策の推進や環境活動を行っている個人や団体等の表彰と、環境問題について学ぶ機会を提供する。</p>	<p>市民の環境活動への取組みを推進し、相互の交流や環境情報の提供を目的に開催した。 日 時：8月31日（土） 場 所：東部市民センター 参加者：230人 内 容：かすがい環境賞の表彰 研究発表「快適な暮らしのために」 中部大学春日丘高等学校国際コース3年生 講 演：「動物写真家が語る 自然・命との対峙」 講 師：前川貴行</p>	<p>環境問題を考えるにあたり動物を題材とした講演を実施することで、幅広い年代に関心を持ってもらえるようテーマ設定を工夫した。</p>	<p>○</p>

<p>ごみの減量と3Rの推進に関する講座 【クリーンセンター】</p>	<p>ごみの減量と3Rの推進を図るため、生ごみの堆肥化やごみとして処分される物品をリメイクして活用する講座などを開催する。</p>	<p>生ごみの堆肥化や、ごみとして処分される物品をリメイクして活用する講座を開催することにより、ごみの減量化と環境に対する正しい認識を持つ機会を設けた。 実施数：47講座 57回 実施講座：ばかし作り教室・リメイク教室・包丁の研ぎ方教室・親子工作教室・自転車修理教室 ほか 受講者数：805人 ※台風、新型コロナウイルス感染防止のため一部講座を中止した。</p>	<p>講座の開催により、環境に対する認識を深め、ごみの減量と3Rを推進することができた。</p>	<p>○</p>
---	---	---	--	----------

(6) 健康に関する学習機会の充実（健康維持・増進や健康づくりへの意識高揚を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
<p>市民健康づくり講座 【健康増進課】</p>	<p>生活習慣を改善するきっかけづくりとなるよう、健康づくりと予防方法に対する正しい知識を身につけることができる講座を実施する。</p>	<p>実施数：4講座 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため第5回目を令和2年度に順延した。 講座内容：家族で出かけよう！いきぬきヨガ、味噌問屋三代目直伝 味噌の魅力と味比べ講座、京大で一番受けたい授業「筋肉先生」に学ぶ 理想の体をつくる運動のすすめ、目で見て学ぶ 感染症とワクチンの基礎知識～麻しん・風しん・インフルエンザ～ 参加者数合計：360人</p>	<p>健康について考え、学ぶ機会を提供することで、健康への関心を高めることができた。</p>	<p>○</p>
<p>女性のためのヘルスアップ講座 【健康増進課】</p>	<p>各ライフステージにおける女性を対象とした健康づくり講座を実施する。</p>	<p>実施回数：7回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため第8回目を中止した。 参加人数：144人 対象及び内容： （全世代）食育・調理実習 （子育て世代）親子で楽しむ健康運動 （壮年期世代）更年期の対処法、健康運動 （高齢期世代）歯の健康、健康運動</p>	<p>各世代のニーズに合わせた内容の講座を提供することができた。</p>	<p>○</p>

<p>お気軽健康教室 【健康増進課】</p>	<p>高齢期における自立度の低下を防ぎ、健康寿命の延伸を図るため、ロコモティブシンドロームや認知症の予防に効果的な軽運動を行う教室を開催する。</p>	<p>実施回数：45回（総合保健医療センター） 35回（保健センター） 参加者数：4,595人（総合保健医療センター） 1,068人（保健センター） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月分を中止した。</p>	<p>高齢期における自立度の低下の防止、健康寿命の延伸を図るための健康づくりに取り組める機会を提供できた。</p>	<p>○</p>
----------------------------	---	---	---	----------

(7) 男女共同参画に関する学習機会の充実（男女共同参画についての理解を深める。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
<p>男女共同参画セミナー 【男女共同参画課】</p>	<p>あらゆる世代の方が生涯を通じて男女共同参画の視点を持ち、能力を開発、発揮し、社会のあらゆる分野へ参画していくために必要な能力を高めることができるよう講座の開催など学習機会を提供する。</p>	<p>女性自身が自立した個人としての意識を持ち、その能力をより高め、さまざまな分野で活躍できるよう女性の学習機会を提供した。また、男女共同参画社会の実現に向け、男女平等の意識づくりを目的としたセミナーを実施した。 実施数：4講座 4回 実施講座： (1)一般市民向け講座 実施数：3講座・3回 実施講座：身近に薬膳～座学で学ぶ効能とレシピ～、男女共同参画サテライトセミナー みんなで学ぶセクシャルマイノリティ～LGBTの今昔～、すぐに身につく！女性のためのビジネスマナー講座 受講者数：74人 ※男性向けの家事能力向上を目的として、アイロンがけ講座を企画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期とした。 (2)事業所向け講座 実施数：1講座・1回 実施講座：ハラスメント防止について 受講者数：24人</p>	<p>「女性のためのビジネス講座」では、実践的な内容とすることで女性の就業能力向上に寄与できた。</p>	<p>○</p>

<p>男女共同参画市民フォーラム 【男女共同参画課】</p>	<p>男女共同参画社会の実現を目指した意識啓発を目的に、市民、社会活動団体、企業、市がともに考える機会として、市民フォーラムを開催する。</p>	<p>「男女共同参画」について、多くの市民に知ってもらうため、男女共同参画市民フォーラムを開催した。 実施日：11月17日（日） 場 所：レディヤンかすがい 参加者：200人 テーマ：「楽しく知ろう男女共同参画～自分らしくでいいじゃない～」</p> <p>内 容： ・男女共同参画落語 微笑亭さん太氏（落語家） ・トークセッション コーディネーター 松田照美（男女共同参画審議会会長） 出演者 福井雅子（春日井市医師会長） ホアンミランダ（英会話講師） 微笑亭さん太（落語家）</p>	<p>落語という娯楽によって啓発を行い、人が参加しやすいような工夫をした。昨年と比べ、参加者が3割増加した。</p>	◎
<p>ワーク・ライフ・バランスの推進 【男女共同参画課】</p>	<p>ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進するため、男女共同参画情報紙「はるか」による啓発のほか、事業者等に対する出張講座を行う。</p>	<p>かすがいビジネスフォーラム（ミニブース出展）においてワーク・ライフ・バランス啓発パンフレットを活用し、啓発を行った。 実施日：11月15日(金)・16日(土)</p> <p>令和元年度はワーク・ライフ・バランスセミナーの申込みがなかったため、講師派遣ができるよう、引き続き事業者に対し周知を行う。</p>	<p>ビジネスフォーラムに参加することにより、市内の企業にワーク・ライフ・バランスについて啓発することができた。</p>	△

(8) 市民ニーズの的確な把握（多様化・高度化し、社会情勢に合わせて変化する市民ニーズを把握する。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
<p>アンケートを活用した市民ニーズの把握 【文化・生涯学習課】</p>	<p>講座受講者へのアンケートを実施するとともにネットアンケートシステム等を活用して市民ニーズの把握を行う。</p>	<p>各種講座において、実施後に受講者に対しアンケート調査を行った。</p>	<p>アンケートによりニーズを把握するとともに、アンケート結果を講師に提供し、改善すべき点などを共有することで、講座内容の改善を図った。</p>	○

講座を評価する仕組みの構築 【文化・生涯学習課】	市民ニーズに即した講座の開催を目指し、講座への応募状況、講座内容や講師に対する満足度などを基に、講座を評価する仕組みづくりを行う。	愛日社会教育担当者連絡会において、他市町の講座の企画、運営方法、評価方法について意見交換を行った。	他市町の状況について調査を行ったが、具体的な評価方法を検討するには至らなかった。	△
-----------------------------	---	---	--	---

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2019年度
公民館及びふれあいセンターなどで開催する講座の延受講者数	26,361人	27,500人	29,000人	22,997人

施策の評価

達成度（掲載事業数 27）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	1	環境、情報化、男女共同参画、多文化共生など様々な課題に対し、講座や講演会など学ぶ機会が提供されている。社会的な課題に関心を持ってもらうのは難しいが、市民一人ひとりが自らの問題として認識し、主体的に問題解決に向けて行動できるよう、さらなる学習機会の充実が期待される。 実施した講座が市民ニーズに即したものか、課題解決に向け有効であったかなど、実施する目的や方法により一律に評価するのは難しいため、評価方法について十分に検討されたい。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	23	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	2	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	1	

施策 2-3 生涯スポーツの振興

(1) 多目的総合運動広場の整備（スポーツ環境の充実や健康の維持増進を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
多目的総合運動広場の整備 【スポーツ課】	スポーツ環境の充実や健康の維持増進を図るため、朝宮公園に公園全体でスポーツ振興や健康社会の実現、子育て環境の充実を図り、市の魅力アップにもつながる施設として、多目的総合運動広場を新たに整備する。	(1)朝宮公園整備工事 ・実施設計 ・造成工事 ・メインスタンド等整備工事 ・埋設管布設工事 ・西側駐車場整備工事	設計業務委託は予定どおり完了した。 工事は予定どおり令和元年度分が終了し、メインスタンド整備工事及び埋設管布設工事については令和2年度においても継続している。	○

(2) コミュニティスポーツの推進（コミュニティスポーツの推進を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
総合型地域スポーツクラブの支援 【スポーツ課】	健康・体力づくり運動に関する啓蒙と事業実施を行う学校区体育振興会を育成し、地域スポーツの振興を図る。	(1)地域住民のスポーツ・レクリエーションの普及振興を図るため、春日井市スポーツ協会を通じて各学校区体育振興会に補助金を交付した。 (2)春日井市内18学校区体育振興会の交流を図ることを目的に、学校区体育振興会交流大会を開催した。 期 日：11月17日（日） 会 場：総合体育館第1競技場、総合体育館運動広場 種 目：ソフトバレーボール、グラウンド・ゴルフ 参加人数：547人	令和元年度は1～3位の表彰に加え、飛び賞として5、8、11、14、17位に副賞を設けて、より多くの参加者に楽しんでいただけるよう工夫した。	○

<p>スポーツ推進委員 【スポーツ課】</p>	<p>地域のスポーツ大会、スポーツ教室等の実施に関する連絡調整及び指導・助言や健康・体力づくりの実技指導を行うスポーツ推進委員の充実を図る。</p>	<p>地域スポーツ振興のリーダーとして各地域活動の活性化を促すよう、実技研修会や講習会への参加により、スポーツ推進委員の意識高揚を図った。また、実践力や企画力等の資質向上に努めるとともに、新たな指導者の発掘を目指した。ラジオ体操講習会等への参加によるスキルアップを図りながら、各地域でのラジオ体操の普及活動に努めた。 ○春日井市スポーツ推進委員実技研修会の開催（3回） ○その他（研修会等への参加） 第60回全国スポーツ推進委員研究協議会 第67回東海四県スポーツ推進委員研究大会 ほか スポーツ推進委員の派遣 派遣件数:19件、派遣人数:90人</p>	<p>全ての委員を対象に、ラジオ体操指導員資格を取得するよう促し、講習会等への参加によるスキルアップを図ったところ、資格取得者が委員の約90%となった。</p>	<p>○</p>
<p>ラジオ体操会 【スポーツ課】</p>	<p>子どもから高齢者まで、あらゆる世代の交流や健康づくりを推進するため、毎年8月の第1日曜日を「ラジオ体操の日」とし、「みんなでラジオ体操会」を実施することで、ラジオ体操の普及を図る。</p>	<p>(1)みんなでラジオ体操会 期 日：8月4日(日) 会 場：落合公園、松山小学校 参加人数：1,240人 (2)ラジオ体操！チャレンジ宣言 期 日：7月20日(土)～9月1日(日) 参加人数：5,153人（56団体）</p>	<p>ラジオ体操指導員資格を有するスポーツ推進委員を始め、関係団体等と連携して、ラジオ体操会を開催し5000人を超える参加を得ることができた。</p>	<p>○</p>

(3) スポーツに関する学習機会の充実（日常的にスポーツやレクリエーションスポーツに親しめる機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
<p>スポーツに関する講座・教室 【公民館・ふれあいセンター】</p>	<p>健康づくりや生きがいづくりを推進するため、各年齢層に向けて、気軽にスポーツに親しめる講座や教室を実施する。</p>	<p>(1)公民館 実 施 数：9講座 実施講座：めざせ姿勢美人！体幹レッスン、中高年のためのエクササイズ ほか 受講者数：1,985人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：30講座 実施講座：みるみるカラダが若返る!ぴんぴんトレーニング教室 ほか 受講者数：2,720人</p>	<p>気軽にスポーツに親しむ機会を提供できた。 受講者によるサークルが立ち上がった。 対象となる年齢層を絞ることにより、レベルに合わせた内容とすることができた。</p>	<p>○</p>

<p>スポーツイベント 【スポーツ課】</p>	<p>マラソン大会、スポーツフェスティバルなどを実施し、多くの市民が生涯を通じてスポーツに親しむことができるよう、各世代のニーズに合わせたスポーツへの参加機会の充実を図る。</p>	<p>(1)第38回新春春日井マラソン大会 期 日：1月12日(日) 参加人数：8,775人 (2)かすがい！スポーツフェスティバル 期 日：10月14日(月・祝) 参加人数：6,639人 (3)レクリエーションスポーツ祭2019 期 日：6月9日(日) 参加人数：3,159人 (4)第35回春日井市内高校生スポーツ大会 期 日：6月22日(土)～8月5日(月) 参加人数：3,894人 (5)市民体育大会 期 日：4月1日(月)～3月31日(火) 参加人数：10,247人</p>	<p>様々なイベントを開催することで、スポーツに親しむ機会を提供することができた。概ね前年度同様の参加を得ることができた。</p>	<p>○</p>
<p>春日井市スポーツ・ふれあい財団との連携 【スポーツ課】</p>	<p>生涯スポーツ教室や出張スポーツ講座を始め、さまざまなスポーツ教室(講座)やスポーツイベントを行う、春日井市スポーツ・ふれあい財団と連携し、スポーツに親しむ機会の充実を図る。</p>	<p>スポーツ・ふれあい財団が事業を進めていくために必要な経費を補助し、その運営の充実及び住民福祉の向上を図った。 (1)スポーツ教室(講座)の開催 実施内容：生涯スポーツ教室事業、運動指導事業、地域ふれあい運動教室、出張スポーツ講座及びトレーニング教室 延べ回数：2,893回 参加人数：75,268人 (2)スポーツイベントの実施 実施内容：親子で楽しむ！スポーツ教室、泳いでいるフォームを撮影できます！、水ケーション、萩原智子杯水泳競技大会in春日井兼サンフロッグ春日井水泳競技大会、スポーツ観戦事業 ほか 参加人数：6,114人</p>	<p>以前行ったアンケート結果などを参考に新たにフィットネスプログラムにズンバを取り入れ、好評であった。前年と比べ、スポーツ教室の実施催回数が減ったが、前年を超える人数の参加があった。</p>	<p>○</p>

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2019年度
スポーツ教室の参加人数	68,266人	70,500人	73,000人	75,268人

施策の評価

達成度（掲載事業数 7）	評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	東京オリンピックの開催が予定され、スポーツへの関心が高まっている。健康のために行う人、地域の交流や仲間づくりを目的に行う人、あるいは本格的に取り組む人など、目的はさまざまである。多くの人が利用できるスポーツ施設の整備やレベルに合わせた講座の実施など、着実に進められており、文化・スポーツ都市 春日井の推進に期待する。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	

施策 2-4 文化芸術の振興

(1) 文化芸術の鑑賞機会の提供（誰もが気軽に文化芸術に親しむことができる環境の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
<p>どんぐり芸術文化劇場（廃止） 【東部市民センター】</p>	<p>文化事業を通じた地域交流・世代間交流の活性化を図るため、地域住民に身近なホールにおいて、本格的な文化芸術に触れる機会を設ける。</p>	<p>どんぐり芸術文化劇場は、平成30年度で廃止。 かすがい市民文化財団主催の文化事業や公演を実施し、芸術に触れる機会を創出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レニングラード・ホテル 5月26日（日） ・親子わくわくプログラム KAKUTAのとびだす童話 ねこはしる 8月18日（日） ・第75回春日井日曜シネマ「それだけが、僕の世界」 9月1日（日） ・若手音楽家支援事業 ワンコインコンサート 12月7日（土） 	<p>事業としては廃止したが、東部地区での文化拠点として東部市民センターホールを利用した芸術鑑賞の機会を提供できた。また、継続して実施しており、参加者も多い。</p>	○
<p>かすがい市民文化財団との連携 【文化・生涯学習課】</p>	<p>かすがい市民文化財団と連携し、文化芸術の鑑賞機会の充実を図る。</p>	<p>かすがい市民文化財団自主事業として、美術系・舞台系・文芸系事業を実施した。</p> <p>(1)美術系事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日ペンの美子ちゃん原画展 ・一条ゆかり展 ほか <p>(2)舞台系事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松竹大歌舞伎 ・生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会100回記念公演 ・親子わくわくプログラム KAKUTAのとびだす童話 ねこはしる ・若手音楽家支援事業 ワンコインコンサート ・演劇×自分史 カスガイ創造プロジェクト ほか <p>(3)文芸系事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募自分史「恋した わたし」 ほか 	<p>ジャンルの偏りなく、幅広い芸術文化事業を展開し、市民に文化芸術の鑑賞機会を提供できた。</p>	◎

<p>地域に身近な会場での鑑賞・交流機会の提供 【文化・生涯学習課】</p>	<p>身近な場所で文化芸術が鑑賞でき、交流できる機会を提供するため、小学校の体育館でのコンサートなどを開催する。</p>	<p>かすがい市民文化財団主催「かすがいどこでもアート・ドア」を実施し、各ジャンルのアーティストを市内の保育園や公民館等に派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・馬場淳史（三味線）町屋ふれあいの家、岩成台保育園 ・BULL（ジャズ）押沢台集会所、西尾小学校、八事公民館 ・Trio Primavera（クラシック）勝川北部保育園、第二ひばり幼稚園 ・Lune（クラシック）総合福祉センター大ホール、エスライフホール ・Shiki's Friends（クラシック）瑞穂保育園、上八田保育園 ・井草聖二（ギター）あすなる教室、南城中学校 ・服部哲郎（ダンス）東部市民センター 	<p>学校や保育園、市内施設など身近な場所で文化芸術を鑑賞でき、交流できる機会を、未就学児から一般まで幅広い世代に提供した。</p>	<p>◎</p>
<p>近隣美術館などとの連携の推進 【文化・生涯学習課】</p>	<p>近隣自治体にある美術館等などとの連携を推進し、より展覧会などを鑑賞しやすくする事業を実施する。</p>	<p>かすがい熟年大学の芸術文化コースにおいて、近隣美術館の学芸員等に講師を依頼し、近隣美術館の展覧会の内容や所蔵品等について講義を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「近現代の美濃陶芸」岐阜県現代陶芸美術館学芸員 ・「画家が描いた日本の原風景」四日市市博物館長 	<p>展覧会内容や所蔵品を知る機会を設けることで、芸術への関心を促すことができた。</p>	<p>○</p>

(2) 文化芸術に関する学習機会の充実（文化芸術活動に気軽に参加し活動のきっかけづくりとなる講座や学ぶ機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
<p>あ〜とふるマイタウン事業 【文化・生涯学習課】</p>	<p>地域の身近な場所で文化芸術に親しめるよう、市内外で活躍する芸術家等を地域の集会所や公民館に派遣する。</p>	<p>文化・芸術に触れる機会を提供するとともに、それぞれの地域の身近な場所において文化・芸術に親しんでいただくため、市内外で活躍する芸術家等を派遣する「あ〜とふるマイタウン（芸術家等派遣事業）」を実施した。音楽分野については、文化財団に移管し、「かすがい どこでもアート・ドア」として実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面白いで「書」（原田凍谷）2回 ・大きな筆で大きな文字を書こう（武内峰敏）2回 ・雅印を作ろう（小川大樸）1回 	<p>書と伝統芸能の分野で身近な場所で文化芸術を体験・鑑賞でき、交流できる機会を提供した。 毎年応募される団体も多いので、派遣先が偏らないよう工夫した。</p>	<p>○</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・落語を楽しもう！（社会人落語「楽語の会」）3回 ・First Time 日本舞踊へようこそ！（踊・odori「kanyou家」）3回 		
<p>かすがい文化フェスティバル 【文化・生涯学習課（かすがい市民文化財団）】</p>	<p>次代を担う子どもたちが茶道、華道、日本舞踊等の伝統文化を始めとしたさまざまな文化に親しみ、身近に体験できる講座を開催する。</p>	<p>かすがい文化フェスティバル2019 【スペシャルDAY】 7月28日（日）13講座26回開催 参加者：延べ462人 体験内容：書道、琴、大正琴、日本舞踊、三味線、着付け、茶道、華道、水墨画、和太鼓、ギター、木目込み人形、クラフト作りなど 【夏休みワークショップ】 夏休み期間中毎週開催 5回開催 参加者：延べ164人 【夕涼みシネマ】 8月17日（土）1回上映 参加者：415人</p>	<p>幅広いジャンルの体験講座を提供し、子育て世代に訴求するビジュアルイメージを打ち出せており、参加者も1,000人を超え、夏の恒例行事として子育て世代に定着してきている。</p>	○
<p>市民美術展覧会 【文化・生涯学習課】</p>	<p>市民の作品発表と鑑賞の機会を提供するため、日本画、洋画、書、彫塑工芸、写真の部門での公募展を開催する。</p>	<p>市民の美術作品の発表と鑑賞の場を設けることにより、市民の美術文化の向上を図った。 申 込：7月2日（火）～15日（月・祝） 展 示：8月17日（土）～25日（日） 募集部門：日本画（水墨画を含む）、洋画（油彩・水彩・版画等）、書（篆刻・刻字を含む）、彫塑工芸、写真 出品数：計703点 鑑賞者数：10,000人以上</p>	<p>市民の作品発表と鑑賞の機会を提供した。 出品者・鑑賞者向けのアンケートを行うとともに、審査委員の意見を聞いた上で事務局の考え方をまとめたものを会場内に掲示するなど、市民の理解を得る工夫を行った。</p>	○

(3) 特色ある文化の推進（書道文化、自分史の普及・振興を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
<p>道風展 【文化・生涯学習課】</p>	<p>春日井市で生まれたと伝えられ、三跡の筆頭として日本書道史上に大きな足跡を残した小野道風の偉業をたたえる、全国公募の書の展覧会を開催する。</p>	<p>本市に誕生伝説が残る平安時代の書聖・小野道風の偉業を讃えるとともに「書のまち春日井」を全国発信し、書道文化の振興を図る目的で全国公募の書道展を開催した。 春日井展：10月27日（日）～11月4日（月・休） 表彰式：11月3日（日・祝） V R展：10月27日（日）～12月8日（日） 学生半紙の部巡回展：11月5日（火）～12月8日（日） J R春日井駅自由通路展示コーナー</p>	<p>出品数の減少と比例して鑑賞者数も減少傾向にあるが、令和元年度よりインターネット上で展覧会会場を公開するV R展を実施したところ、1,000件以上のアクセスがあった。</p>	○

		<p>一般部巡回展：1月上旬から、グルッポふじとう、西部ふれあいセンター、市庁舎</p> <p>募集部門：一般部 第1部漢字、第2部かな、第3部近代詩文、第4部少字数、第5部小品、学生部 半紙、条幅</p> <p>応募点数：一般部289点、学生部4,962点、計5,919点</p>		
<p>書に関する作品の展示 【道風記念館】</p>	<p>全国的にも数少ない書専門の美術館である道風記念館において、収蔵品や他施設から借用したさまざまな書作品・書関係資料を展示する。</p>	<p>書に関する様々な展覧会を開催した。</p> <p>(1)特別展 「川谷尚亭～神々しきその書～」 9月6日(金)～10月14日(月・祝)</p> <p>(2)企画展 「おののとうふう～小野一族のひみつ～」 7月19日(金)～9月1日(日) 「黒野清宇の書」 10月18日(金)～11月4日(月・休)</p> <p>(3)館蔵品展「近現代の書【昭和・平成編】」 4月24日(水)～7月15日(月・祝) 「書の魅力」11月7日(木)～2月2日(日) 「読んで味わう書の世界」 2月5日(水)～4月19日(日) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月11日から休館した。</p> <p>(4)第38回道風の書臨書作品展 1月10日(金)～19日(日)</p>	<p>特別展「川谷尚亭」では、現代の書に大きな影響を与えた書家、川谷尚亭の代表作を展示した。特に書道界へのPRに力を入れた。全国から著名書家が来館し、大きな反響を得た。</p>	◎
<p>自分史作品の公募 【文化・生涯学習課(かすがい市民文化財団)】</p>	<p>全国から出版物の寄贈を受け入れるとともに、作品公募事業を実施し、優れた作品を冊子にまとめるなど自分史作品を収集する。</p>	<p>自分史活動の振興と春日井市のPRを図り、短編の自分史作品を公募し、作品集を製作した。</p> <p>テーマ：「恋した わたし」</p> <p>公募数：210作品 作品集への掲載数：35作品</p> <p>演劇×自分史事業 応募作品のエピソードを演劇に取り入れたワークショップを開催した。 市民ワークショップ：21回開催 参加者数：延べ554人 ※本番2回公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。</p>	<p>より多くの人に気軽に応募してもらうため、400字から応募可能にするなど応募規程を大幅に変更。ゲスト審査員に春日井出身の鈴掛真氏(歌人)をむかえた影響も大きく、若い世代からの応募が増加。8年振りに応募作品数が200点を超えた。</p>	◎

(4) 郷土文化の継承及び文化財保護意識の啓発（歴史や文化財への関心を高めるとともに郷土の文化財や伝統文化の保護、保存、活用を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
内津文化財祭 【文化財課】	文化財保護への理解を深めるとともに啓発を図るため、内々神社が所蔵する文化財の公開等を行う内津文化財祭を開催する。	豊かな内津の自然と内々神社の文化財を通して歴史を身近に感じ、文化財への愛護意識を育むため、内津文化財祭を開催した。エレノア・シー Jazz Trioによるジャズ演奏や、指定文化財「御舞台」と三十六歌仙額の公開、すみれ塚解説や茶会などを開催した。 前年度に引き続き、JR春日井駅デジタルサイネージや市ホームページで、開催をPRする動画を掲載した。 開催日：5月12日（日） 会 場：内々神社 参加者：800人	市内の貴重な文化財に親しむ機会を提供し、文化財保護について啓発することができた。	○
郷土芸能出前講座 【文化財課】	地域の郷土芸能保存会を小学校に招き、模範演技の披露や体験・練習・発表を通して郷土芸能の保存・伝承について考える機会を提供する。	小学生を対象に郷土芸能保存団体が地域の郷土芸能を披露し、体験・練習・発表を通して、地域に伝わる郷土芸能の奥深さを理解し、郷土を愛する気持ちを高めるため、郷土芸演出前講座を実施した。 開催校：坂下小学校 開催日：11月13日(水)・20日(水)・27日(水) 参加児童数：3年生 70人 保存団体：出川町棒の手保存会 他3団体	郷土芸能を体験することで、地域の文化を知る機会を提供することができた。	○

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2019年度
文化芸術活動をしている人の割合	14.5%	20.0%	25.0%	2021年度に測定

施策の評価

達成度（掲載事業数 12）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	4	文化芸術事業のアウトリーチなどにより、身近な場所で芸術に触れる機会が創出されている。また、「書のまち」「自分史」という春日井市の特色ある文化を生かした事業も着実に進められている。道風展については、VRといった新しい手法も取り入れ、来場できない人に対しても芸術を鑑賞できる機会を提供できており評価できる。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	8	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	

基本目標 3 学んだ成果を生かせる仕組みづくり

施策 3-1 地域の担い手となる人材の発掘及び育成

(1) 指導者となりうる人材の育成（地域における学習活動の活性化を図り、リーダー、ボランティアとなる人材の育成と人材の発掘を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
地域をささえる人づくり講座 【市民活動推進課】	区・町内会・自治会を中心とした地域活動が安定的かつ継続的に行われるよう、地域リーダーを育成する講座を実施する。	区・町内会・自治会を中心とした地域活動が安定的かつ継続的に行われるよう、地域リーダーを育成するため、地域をささえる人づくり講座を開催した。 実施日：2月15日（土） 参加人数：30人 講師：椋山女学園大学人間関係学部人間関係学科 教授 谷口功	区・町内会・自治会を中心とした市民活動団体の相互の連携や活動の推進を図るとともに、地域活動を継続させるための解決策を講義やグループワークを通して学ぶことができた。	○

<p>春日井安全アカデミー 【市民安全課】</p>	<p>地域の安全について自ら考えて行動し、提言できる地域のリーダーを育成する春日井安全アカデミーを開催する。</p>	<p>(1)春日井安全アカデミー 市民として地域の安全を自分たちで考え、行動し安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、防災や防犯について学ぶ市民大学を開催した。 7月6日(土)入学式 103人入学 基礎教養課程 防災コース6講座、生活安全コース6講座 専門課程 防災コース6講座、生活安全コース6講座 12月7日(土)卒業式 90人卒業 (2)安全・安心まちづくりポニター養成講座 安全アカデミー基礎教養課程(生活安全・防災コース)を修了後、専門課程を卒業した人のみを対象として養成講座を開講した。 開催期間：1月28日(火)～31日(金) 上級救命講習、災害図上訓練(DIG)、避難所運営ゲーム(HUG)、防災講話等を実施</p>	<p>受講者の防災、防犯についての情報・知識の向上が図られ、安全・安心まちづくりポニターの増加につながった。</p>	<p>○</p>
<p>ヘルスマイト養成講座 【健康増進課】</p>	<p>地域において、食を通じた健康づくり活動を自主的に行う食生活改善推進員(ヘルスマイト)を養成する講座を実施する。</p>	<p>食生活改善推進員(ヘルスマイト)を養成する講座を実施した。 実施回数：全8回 養成人数：10人</p>	<p>参加者募集を広報9月1日号の特集記事に掲載したことで、前年度の倍以上のヘルスマイトを養成することができた。</p>	<p>◎</p>
<p>まなび選科(サイト)への講師登録 【文化・生涯学習課】</p>	<p>自分の知識や技能を他者に教えたい人と学びたい人を結びつけるため、講師を希望する人をサイトに登録することを促進する。</p>	<p>講師登録件数：294人(うち新規登録28人) アクセス件数：37,374件</p>	<p>インターネットを通じて情報提供するとともに、登録者を出前公民館講座の講師として派遣し、登録者に活動の機会を提供することができた。</p>	<p>○</p>

(2) ボランティアの育成（地域における学習活動の活性化を図り、リーダー、ボランティアとなる人材の育成と人材の発掘を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
グルッポふじとうにおける地域住民サポーター事業 【ニュータウン創生課】	高蔵寺まなびと交流センターにおいて「地域住民サポーター」を募集し、地域住民との積極的な協働による施設運営を目指す。	地域住民サポーター登録数 125人 活動内容：花壇の手入れ ・毎日の水やり ・花の植え替え（花壇コンクール（春日井市主催）に出場） ・グルッポふじとう敷地内案内 ・駐車場誘導・・・イベント開催時 ・図書館書架整理・・・随時	住民協働による施設運営を行うことができた。 地域住民の繋がりの場となった。	○
健康マイスター養成講座 【健康増進課】	健康に関する正しい知識を持つ「健康マイスター」の養成講座を開催し、修了者のうち、希望者はボランティアとして、市などが実施する健康づくり事業に参加する。	実施期間：9月18日（水）～1月29日（水） 会場：総合保健医療センター、保健センター、落合公園 養成人数：27人 講座数：10講座 開講式/市の健康事情・生活習慣病予防について（講話） 頭と体の健康～認知症予防運動（講話・実技）、体力測定・体組成検査計測結果説明（講話・測定）、歯と健康について（講話）、ノルディックウォーキング（講話・実習）、食生活を考える（講話・実習）、ロコモの話（講話・実技）、押さえておきたい健康の話～腎臓から考える健康～・血管の若返り「減塩」（講話）、安全管理・救命講習（講話・実習）、こころの健康講座・閉講式・今後の活動について（講話）	健康マイスターを養成することができた。「お気軽運動教室」など健康づくり事業にボランティアとして参加してもらうことができた。	○
人材育成セミナー 【市民活動支援センター】	ボランティアや市民活動で活躍する人材を育成するため、人材育成セミナーを実施する。	(1)市民ニーズに合った講座を開催し、市民活動を担う人材を育成した。 ・青少年ボランティアスクール 受講者延べ95人 ・オトナのボランティアスクール 受講者延べ34人 (2)市民活動団体のニーズに合った講座を開催し、団体を担う人材を育成した。 ・資金獲得セミナー 受講者11人 ・組織力アップセミナー 受講者54人 ・会計セミナー 受講者3人 ・かすがい市民活動情報サイトサポート 利用者 27人 ・情報サイト活用講座 受講者6人	新たに情報サイト活用講座を実施し、団体のニーズに対応することができた。	○

情報紙「ささえ愛」 【市民活動支援センター】	市民活動の情報を提供するため、市内で活躍している市民活動団体の紹介や団体が実施するイベント情報を掲載した情報誌を発行する。	市内の市民活動の情報と市民活動支援センターのPRを目的とした情報紙「ささえ愛」を発行した。 発行部数：2,000部 発行回数：3回 情報紙配布先：市内公共施設、市内小中学校、市内高等学校、中部大学、春日井市社会福祉協議会、愛知県、他市市民活動支援センター、春日井郵便局、大垣共立銀行春日井支店等	市内で活躍する市民活動団体の紹介や団体が実施するイベント情報を掲載した情報を周知できた。	○
---------------------------	---	---	--	---

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2019年度
生涯学習情報サイトに登録されている講師者数	232人	260人	290人	294人

施策の評価

達成度（掲載事業数 8）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	1	防災・防犯、健康など様々な分野でリーダー、ボランティアの人材育成が図られている。世代を超えて人と人がつながる地域づくりができるよう、若い世代のリーダーの育成が必要である。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	7	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	

施策3-2 学習成果を生かす機会の充実

(1) 学習成果を発表する機会の提供（日頃の学習成果を出し合うとともに、相互交流に繋がるよう、学習成果を発表する機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
公民館まつり 【公民館】	公民館で活動する団体が日頃の活動の成果を発表及び展示する機会として開催する。	<p>各公民館において生涯学習活動団体の学習成果の発表の場として、公民館まつりを開催した。</p> <p>(1)中央公民館 発表会：2月16日（日） 作品展、活動発表会：2月15日（土）～20日（木） （17日は休館）</p> <p>延べ参加者：1,627人 参加団体：32団体</p> <p>(2)東部公民館 発表会 6月16日（日） 作品展 6月15日（土）、16日（日） 延べ参加者 2,220人 参加団体 23団体</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 知多公民館、鷹来公民館、坂下公民館</p>	生涯学習活動団体に対し活動の成果を発表する場を提供できた。近隣の幼・保育園に依頼し、園児に見学にきてもらうなど集客を図ったことにより、参加者の励みになった。	△
公民館まつり 【文化・生涯学習課】	公民館で活動する団体が日頃の活動の成果を発表及び展示する機会として開催している公民館まつりを、広く市民に紹介するため、全市的な規模で開催することを検討する。	<p>各公民館で活動する団体の日頃の学習の成果が発表できるよう、合同企画展を企画した。</p> <p>展示期間：3月20日（金・祝）～29日（日） 場 所：知多公民館ロビー 内 容：「…を楽しむ」をテーマに展示。各団体の活動の様子も紹介する。 参加団体：各公民館2団体 計10団体 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。</p>	他施設で活動する団体との交流を図る機会となった。	△

レディヤン祭 【男女共同参画課】	レディヤンかすがいを活動拠点としている利用団体が団体活動の発表を通して交流と親睦を図るとともに、男女共同参画と青少年活動等を広く市民に啓発するため、レディヤン祭を開催する。	利用団体の活動発表を通して交流と親睦を図るとともに、広く市民に啓発するため、「レディヤン祭」を開催した。 開催日：12月14日（土） 開催場所：レディヤンかすがい 実施内容 ・利用団体活動発表 合唱、歌謡舞踊、鳴子踊り ・体験コーナー、展示コーナー 延べ参加者：2,000人	今年度は他のイベントと日程が重なり、昨年より参加者が減少した。	△
ハーモニーフェスティバル 【青年の家】	ハーモニー春日井の利用団体が、楽器演奏などの練習成果の発表を通じて団体相互の親睦と地域住民等との交流を図るため、フェスティバルを開催する。	利用団体や個人が日頃の成果の発表・交流の機会として演奏を行うとともに、地元の住民や一般の来場者も楽しめるよう、実行委員会によるフェスティバルを実施した。 出演団体数：15団体（登録団体12、その他3） 内 容：20回記念のため、新たにプロジェクトチームが結成され、春日井市の吹奏楽団、交響楽団の他、太鼓や篠笛のコラボ演奏が最後に行われた。 参加人数：714人	実行委員会を組織し開催することで、団体相互の親睦を図ることができた。	○

(2) 市民自らが企画した講座の開催（市民が学習で得た知識や技術を生かせるよう市民が主体となった生涯学習の推進を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
講師発掘・登用事業 【文化・生涯学習課】	さまざまな知識や技術を持った市民を募集し、応募者自らが企画した講座の講師として活躍する場を提供する。また、登用した講師を市主催講座で積極的に活用する。	応募件数：23件 採用件数：17件 実施数：17講座 実施講座：「四季の歌」を弾こう！ギター入門、小学生のためのプログラミング講座、人間関係を楽しむ個性心理学講座、LGBTって何？ いろいろな性別の形を知ろう ほか 受講者数：464人	市民が知識・技術を生かすことができる機会を提供できた。	○

出前公民館講座 【文化・生涯学習課】	市民に身近な場所での学習機会の充実を図るため、講師発掘・登用事業で採用した講師経験者等を講師として、地域の集会施設で講座を開催する。	実施数：40講座 申請団体：地区社会福祉協議会、老人クラブ、子ども会 実施講座：笑って楽しく認知症予防、体力・気力の弱まりを防ぐ 元気道場 ほか 受講者数：1,298人	市民が講師を務め、身近な場所での学習機会の充実を図ることができた。積極的な周知活動を行ったことで、事業が認知され、講座数が大幅に増加した。	◎
かすがい市民大学 (仮称) 【文化・生涯学習課】	市民が講師、学生、運営者となり市民主導の学習機会の場となるかすがい市民大学(仮称)の創設について検討する。	実施なし	先進事例等の調査・研究を進めるとともに、運営を担うことができる人材の発掘、育成についても検討を行う必要がある。	×

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2019年度
公民館まつりの参加団体数	153団体	170団体	185団体	55団体

施策の評価

達成度（掲載事業数 7）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	1	新型コロナウイルスの影響で中止となった事業が多くある。自らが学んだ成果を発表したり、社会に生かしたりする場があることで、さらなる学習意欲の向上や生きがいがづくりにもつながる。インターネットを介した発表の場の提供など、個々の学びを生かすことが可能となるような手法も検討されたい。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	2	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	3	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	1	

施策3-3 学習成果を生かしたまちづくりの推進

(1) 防犯、防災など安全と安心に関する学習機会の充実（防犯・防災意識や交通安全意識の啓発、応急手当等に関する知識や技術を身につける学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
総合防災訓練 【市民安全課】	地震災害に対する参加機関との相互協力体制を確立するとともに、市民の防災意識を高めるため、防災訓練を実施する。	市・各防災関係機関・地域自主防災組織・地域住民等の地震災害に対する相互協力体制を確立し、市民の防災意識を高めることを目的とした、総合防災訓練を実施した。 日 時：8月25日(日)午前7時～10時40分 会 場：出川小学校 参加人数：約1,800人	参加機関との相互協力体制の確立と、参加住民の防災意識の高揚を図ることができた。	◎
交通安全教室 【市民安全課】	交通安全意識を向上させ交通マナーを身に付けるため、幼児から高齢者まで、それぞれの発達段階やライフスタイルに合わせた体験・実践型の交通安全教室を実施する。	市内での交通事故減少を目指し、各年齢層に応じて、交通安全の基本となるルール、マナーの指導を行う交通安全教室を開催した。 実施回数： 小学校交通安全教室 17回 幼児交通安全教室 22回 高齢者交通安全教室 29回 地域等における交通安全教室 27回 合計 95回 ※(旧)交通対策課から市民安全課に事業が移管された。	昨年までの地域における交通安全教室に防災と防犯を加え、広く安全安心について学べる内容に見直し、事業効果の向上を図った。	◎
水防訓練 【河川排水課】	河川の決壊等の水害を想定し、水防技術の向上と水防体制の充実、市民の水防に対する意識を高めるため、水防訓練を実施する。	水防意識の向上を図るため、住民を交えた訓練を実施した。 日 時：6月9日(日) 場 所：勝川小学校(グラウンド及び体育館) 内 容：水防工法訓練、冠水道路歩行体験、特殊車両乗車体験、要配慮者体験、避難所設営体験、救命体験、介助支援体験 参加団体：勝川小学校区住民、春日井市、春日井市消防本部・消防署、春日井市消防団、春日井警察署、国土交通省庄内川河川事務所、陸上自衛隊、春日井建設協会など 住民参加：175人	地元住民の参加型訓練とし、実際にさまざまな体験することで、防災に対する意識を高めることができた。	○

(2) 住民主体による地域課題の解決に向けた学習の支援（住民自らが地域課題に取り組み課題解決の担い手となるよう支援する。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
地域のやる気応援事業 【市民活動推進課】	地域課題の共有と解決策を検討するワークショップの開催を支援し、解決策の実施に係る費用の一部を区・町内会・自治会に対して補助する。	申し込みがなく、実施しなかった。	事業を実施する団体にとって、より使いやすい制度となるよう、要綱の整備等を行う必要がある。	×
生涯学習まちづくり出前講座 【文化・生涯学習課】	市民等により構成される団体の依頼に応じ、市職員を地域の集会施設等に派遣し、行政情報や施策に関する講座を実施する。	実施数：4講座 申請団体：自治会、老人クラブ等 実施講座：遺跡発掘から見た春日井、高蔵寺ニュータウンの「これまで」と「これから」ほか 受講者数：91人	市民に身近な場所で、市の行政情報や施策について学ぶ場を提供できた。	○

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2019年度
学習活動を通じて身に付けた知識・技能を、地域でのまちづくりや地域の活性化のために生かしたい人の割合	7.2%	9.5%	12.0%	2021年度に測定

施策の評価

達成度（掲載事業数 5）		評価
◎	全般的に想定した以上の成果が得られた。	交通安全教室に防災・防犯の内容も加えるなど、複数の内容を結び付けて実施することで、多様な学びの機会が創出されている。地域課題の解決に向けた学習機会を提供するためには、市民に対する市からの情報発信も重要であり、発信方法の工夫が必要である。
○	全般的に、概ね想定した成果が得られた。	
△	想定した目標に到達できなかつたところがあった。	
×	全般的に想定した目標に到達できなかつた。	

基本目標 4 学びを豊かにする環境づくり

施策 4-1 身近な生涯学習関連施設の充実

(1) 市民が利用しやすい施設の運営（市民にとって利用しやすい施設の運営を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
施設予約システム 【文化・生涯学習課】	インターネットで施設の空き状況の検索や利用予約等ができる施設予約システムにより、利便性の向上を図る。	インターネットを利用してスポーツ施設や文化施設の予約ができるあいち共同利用型施設予約システムを利用することで、施設利用者の利便性の向上を図った。 導入施設数：22施設	施設の窓口に行かなくても予約ができる環境を提供できた。	○
託児付き講座 【文化・生涯学習課】	小さい子どもがいる人も講座に参加できるよう、託児付き講座の充実を図る。	実施数：4講座 実施講座：子どもを「叱る」と「怒る」の違いを知ろう 人間関係を楽しむ個性心理学講座 ほか 受講者数：85人（託児11人）	子育てに関する内容だけでなく、様々なジャンルの講座で託児を行い、子育て世代でも参加しやすい環境を整えた。	○

託児付き講座 【公民館・ふれあいセンター】	小さい子どもがいる人も講座に参加できるよう、託児付き講座の充実を図る。	(1)公民館 実施数：5講座 実施講座：美文字レッスン、家族が喜ぶおうちごはんほか 受講者数：298人（託児20人） (2)ふれあいセンター 実施数：4講座 実施講座：コットンパールでアクセサリを作ろうほか 受講者数：410人（託児32人）	小さい子どもがいる人にも参加しやすい学習の機会を提供できた。託児だけでなく、「参加者以外の子ども同伴可」とする講座も実施したことで、「子どもと同室にいられるため常に子どもに目が行き届き、安心して受講することができた」との感想が得られた。	○
託児付き講座 【男女共同参画課】	小さい子どもがいる人も講座に参加できるよう、託児付き講座の充実を図る。	実施数：17講座 実施講座：子どものしつけと親のココロの整え方～これだけは知っておきたい子育てのポイント～、リラックス・ヨガ、怒りの感情と上手に向き合うためのアンガーマネジメントほか 受講者数：293人（託児57人）	講座によっては、10人を超える託児の申込みがあり、市民ニーズへの対応ができた。	○
社会教育事業連絡調整会議 【文化・生涯学習課】	各公民館、ふれあいセンター等の機能の充実を目指し、各施設における課題等を共有し、課題解決のための協議を行う。	各公民館、各ふれあいセンターの機能を充実させ、施設間の情報共有を図るため、社会教育事業連絡調整会議を実施した。 実施数：12回	各施設の課題を共有し、自館の問題として解決策を検討することで、各施設の意識向上を図り、利用者の利便性の向上を図ることができた。	○

(2) 施設の有効活用（市民や団体が学習活動を行う場を提供する。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己評価
旧藤山台東小学校施設整備 【ニュータウン創生課】	旧藤山台東小学校施設を、図書館や児童館、地域包括支援センター、コミュニティカフェ等の機能を有する地域の拠点施設として整備する。	平成30年4月に多世代交流拠点施設「高蔵寺まなびと交流センター（グルッポふじとう）」を開所した。 ・高蔵寺まちづくり株式会社（指定管理者）による管理運営の実施 ・当施設内の図書館に授乳コーナーを設置 ・児童館に靴箱を設置 ・運動場整備に向けた設計を実施	複合機能を持つ多世代交流拠点施設として、当施設内において各世代の交流が生まれている。 図書館に授乳コーナー、児童館に靴箱を新規設置したことにより、利用者の利便性が向上した。	○

<p>東部市民センター施設活用 【東部市民センター】</p>	<p>東部市民センター図書室の移転後の活用について、音楽や軽運動ができる目的別のスペースを確保し、多様な機能を有する地域の拠点施設として整備する。</p>	<p>セミコンサート室、第1・2音楽室、第1・2軽運動室、多目的室を整備し、平成31年2月にリニューアルオープンした。 東部市民センター内の大垣共立銀行スペース跡地の改修を行い、令和2年から託児スペースとして利用する。</p>	<p>さらに幅広く利用できる環境を整備した。</p>	<p>○</p>
<p>学校体育施設の開放 【スポーツ課】</p>	<p>市民の健康増進や体力の向上を図るため、スポーツ活動の場として市内の小中学校体育館、中学校武道場及び県立学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放する。</p>	<p>市立小中学校及び県立学校の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で地域住民等に開放することにより、市民の健康の保持増進・体力の向上を図った。 (1)県立学校体育施設開放 開放校：県立春日井高等学校 始め8校の校庭 利用者数：427人 (2)小中学校体育施設開放 開放校数：小中学校52校の体育館及び中学校15校の武道場 利用者数：295,764人</p>	<p>学校体育施設を活用し、市民の健康の保持増進・体力の向上の場を提供できた。</p>	<p>○</p>
<p>松原学習センター 【文化・生涯学習課】</p>	<p>地域住民の生涯学習活動やコミュニティ活動の推進を図るため、松原小学校の余裕教室を活用し、施設の貸館や生涯学習指導員による講座を実施する。</p>	<p>小学校の空き教室を整備し、松原中学校区の住民を対象に貸館、講座を実施した。 登録団体：10団体 利用件数：303件 利用者数：3,884人 講座数：31講座 実施講座：Wordを学ぶ、仏像の魅力を味わう（入門編）、万葉の世界、はじめてでも描けるペン画 ほか 受講者数：1,723人</p>	<p>地域住民に対し、生涯学習団体活動及び学びの場を提供できた。</p>	<p>○</p>
<p>小学校余裕教室の開放 【文化・生涯学習課】</p>	<p>市民の生涯学習活動の推進とコミュニティの育成に寄与するため、白山小学校、牛山小学校、石尾台小学校の余裕教室を地域の団体に開放する。</p>	<p>子育て支援団体や生涯学習活動団体に空き教室を開放した。 利用団体数：白山小学校：1団体 牛山小学校：1団体 石尾台小学校：3団体</p>	<p>学校施設を活用し、地域住民に生涯学習団体活動の場を提供できた。</p>	<p>○</p>

(3) 施設の適切な維持管理（安全で快適な施設環境の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
計画的な修繕 【公民館、ふれあいセンター等】	施設の定期的な点検を行い、劣化状況等を把握するとともに、施設保全計画に基づき、計画的な修繕を実施する。	中央公民館クレーコート改修工事 中央公民館非常用発電機取替工事 鷹来公民館非常放送設備改修工事 坂下公民館第1駐車場改修工事、 坂下公民館ビルトインコンロ・オープン取替工事 青年の家コミュニティホール空調機設置工事 青少年女性センター空調設備機器修繕 ほか	個別施設計画に沿って施設改修等を適切に実施し、生涯学習活動を行う環境を維持した。	○

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2019年度
公民館及びふれあいセンターなどの利用者数	545,177人	548,500人	552,000人	486,180人

施策の評価

達成度（掲載事業数 11）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	0	授乳コーナー、靴箱の設置や託児スペースの確保など、利用者の利便性向上のための取り組みが進められ、また、計画的な施設修繕や管理運営等が適切に行われており、生涯学習活動を行う環境を維持できている。利用者ニーズと予算のバランスが苦しいと思われるが、より安全で快適な施設環境の充実が図られるような施設運営が望まれる。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	11	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	

施策 4-2 自主的な学習活動への支援

(1) 図書館・図書室の充実（市民の自主的・自発的な学習活動を活性化する。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
図書資料の充実 【図書館】	利用者のニーズに応じた図書資料の充実に努めるとともに、地域性や利用者ニーズ等を配慮した排架に努め、利用しやすい環境を整えます。	市民のニーズ、社会情勢の変化に対応し、幅広い分野から資料選定を行い、図書館（室）の資料の継続的な充実を図った。 図書の蔵書数(冊) 春日井市図書館 596,033冊 高蔵寺まなびと交流センター図書館 76,722冊 味美ふれあいセンター始め9図書室 104,076冊 合計 776,831冊	地域性のある特色を持った蔵書構成となるよう留意し、郷土や書道に関する資料については積極的に収集を行った。 また、各図書室の資料の充実を図った。	○
ティーンズサービスの充実 【図書館】 ※事業名変更	中学生・高校生（10代）の利用促進を図るため、TC（ティーンズコーナー）通信を発行するとともに、中学生・高校生の意見を取り入れながらサービスの充実を図る。	TC通信発行 年6回 TC蔵書の拡充 H30年度末5,328冊→R01年度末5,430冊 中学生向け読書講座(10代の未来さがし講座) 開催日：2月29日（土） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	新たな事業として、中部大学と連携した講座を企画し、中学生に対して学習機会の提供を図った。	○

(2) ICTを活用した学習の推進（市民の自主的・自発的な学習活動を活性化する。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
eラーニングの普及・啓発 【文化・生涯学習課】	忙しくて学習活動に取り組めない市民の学習機会の拡大に向け、いつでもどこでも学ぶことができるeラーニングの普及・啓発を図る。	動画配信等による講座の実施について検討した。	市民ニーズの把握を行い、先進事例、情報機器等の情報を収集し、研究を進める。	×

遠隔生涯学習講座の導入 【文化・生涯学習課】	コンピューターネットワークを活用し、講座が開催される会場まで来ることが困難な方でも、別会場で同一の内容の講座が受けられる仕組みづくりを検討する。	実施なし	市民ニーズの把握を行い、先進事例、情報機器等の情報を収集し、研究を進める。	×
---------------------------	--	------	---------------------------------------	---

(3) 生涯学習活動団体への活動支援（地域の活力向上や市民の多様な学習活動の活性化を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
生涯学習活動団体への支援 【公民館・ふれあいセンター】	一定の要件を充たした生涯学習に関する事業及び活動を行う団体を認定することで、公民館等の使用料を減免するとともに、団体同士の交流を促進する。	生涯学習活動団体等 公民館 285団体 4,355人 ふれあいセンター 203団体 3,091人 青年の家 66団体 834人 市民活動支援センター 18団体 226人 レディヤンかすがい 142団体 5,167人 使用料減免のほか、公民館まつり等での活動見学会の実施やPRポスターの掲示、活動団体が講師を務める講座などを実施し、活動を支援した。	公民館利用団体が講師となる入門講座「市民による市民のためのチャレンジ講座」により、多くの利用団体が開催し、団体会員のスキルアップにつながった。	○
文化スポーツイベント補助金 【スポーツ課】	個人及び文化・スポーツ活動団体が、全国的規模で開催する公演の実施や全国的規模のスポーツ大会に出場した際等に、補助金を交付する。	スポーツの振興及び競技力の向上を図るため、国際大会・全国大会に出場した選手に文化スポーツイベント補助金を交付した。 ・国際大会出場補助：個人 12件、団体 0件 ・全国大会出場補助：個人 175件、団体 10件 ・全国大会開催補助：1件（第29回全国高等学校剣道選抜大会） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大会は中止となったが、準備等がかかった経費の補助を行った。 ※より公平公正な補助金交付のため、交付要綱を一部改正した。	全国的規模で開催する大会の実施や全国的規模のスポーツ大会への出場等を支援した。	○

文化スポーツイベント補助金 【文化・生涯学習課】	個人及び文化・スポーツ活動団体が、全国的規模で開催する公演の実施や全国的規模のスポーツ大会に出場した際等に、補助金を交付する。	文化芸術の振興を図るため、国際的、広域的文化交流事業の開催、国際文化交流事業及び国内での文化事業への参加に対し、補助金を交付した。 ・文化的事業の開催 1件 ・国内での文化事業参加 計3件 団体：2件（転輪太鼓、中部中学校吹奏楽部） 個人：2件（愛工大名電高校吹奏楽部員、名古屋南高校吹奏楽部員）※春日井市在住者 ・国際文化交流事業 0件 ※より公平公正な補助金交付のため、交付要綱を一部改正した。	全国的規模の音楽コンクールへの出場等を支援した。	○
春日井市スポーツ協会運営費補助金 【スポーツ課】	スポーツ協会の運営や、学校区体育振興会を含む加盟団体の育成、各加盟団体が行うスポーツ教室等の助成を通して地域のスポーツ振興を図るため、スポーツ協会に補助金を交付する。	スポーツ協会の運営や加盟40団体の育成、各競技団体が行うスポーツ教室等を助成し、スポーツの振興を図った。 (1)市民体育大会総合開会式においてスポーツ協会表彰式を開催 優秀表彰 個人7人 団体1団体 一般表彰 個人7人 (2)各競技団体が行う事業 スポーツ教室、選手派遣及び育成事業、団体主催事業 ほか	各加盟団体への助成・支援を行った。	○

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2019年度
生涯学習活動団体の会員数	14,868人	15,000人	15,000人	13,757人

施策の評価

達成度（掲載事業数）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	0	生涯学習活動団体の活動が活性化し、より多くの市民が生涯学習に取り組むことができるよう支援の継続に期待する。 ICTの活用は、市民の学習機会を広げるものとして有効なツールの一つであるため、さらなる調査、研究を進められたい。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	6	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	2	

施策４－３ 関係機関とのネットワークの構築

(1) 大学や企業などとの連携強化（市民の学習ニーズに対応し、様々な学習活動を総合的・体系的に推進するため、高等教育機関、民間団体、企業、近隣自治体とのネットワークの強化を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
大学連携講座 【文化・生涯学習課】	市民の多様化する学習ニーズに応えるため、大学が持つ優れた人材と設備を活用し、高度な内容の講座を実施する。	中部大学や名城大学など近隣の大学と連携し、公共施設での講座だけではなく、大学施設を利用した実習講座や子ども向けの体験講座等を実施した。 実施数：16講座 実施講座：基礎から学ぶ栽培技術、テングザルを追ってジャングルへ～森と僕らの不思議な関係～、暮らしの中の沖縄文化 ほか 受講者数：794人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため2講座を中止した。	近隣の大学との連携により、優れた人材と設備を活用し、高度な学びの機会を提供できた。	○

<p>民間団体・企業との連携 【公民館・ふれあいセンター】</p>	<p>民間団体や企業が持つ知識やノウハウを活用するため、講座への講師として派遣を要請するなど連携を図る。</p>	<p>(1)公民館 実施数：33講座 実施講座：シニアのための持ち込みタブレット入門、緑のカーテン講座、子ども向けロボットプログラミング教室 ほか 受講者数：1,909人 連携先：(公財)春日井スポーツ・ふれあい財団、NPO法人けやきフォーラム、尾張農業協同組合、(株)ブランシェ ほか</p> <p>(2)ふれあいセンター 実施数：20講座 実施講座：ワンランクアップ！おいしいコーヒーの入れ方講座、シェフが教える男の料理 ほか 受講者数：924人 連携先：(公財)春日井スポーツ・ふれあい財団、NPO法人けやきフォーラム、ホテルプラザ勝川 ほか</p>	<p>地元企業が講師となる講座を企画することで、地元企業との連携がさらに強めることができた。</p>	<p>○</p>
---------------------------------------	--	--	--	----------

(2) 近隣自治体との連携強化（市民の学習ニーズに対応し、様々な学習活動を総合的・体系的に推進するため、高等教育機関、民間団体、企業、近隣自治体とのネットワークの強化を図る。）

事業名	事業概要	令和元年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
<p>愛日社会教育担当者連絡会 【文化・生涯学習課】</p>	<p>近隣市町との連携や情報共有を図るため、小牧市や瀬戸市を始め 11 市町で構成された愛日社会教育担当者連絡会に参加する。</p>	<p>5月、8月、1月に開催した愛日社会教育担当者連絡会に出席し、情報交換を行った。 5月：名古屋市三の丸庁舎 8月：尾張旭市（尾張旭市事例発表、情報交換会） 1月：瀬戸市（瀬戸市事例発表、施設見学）</p>	<p>連絡会に参加し、担当者の見識を深めるとともに、生涯学習の課題等について情報交換を行うことができた。</p>	<p>○</p>

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2019年度
大学連携講座の講座数	17講座	20講座	24講座	16講座

施策の評価

達成度（掲載事業数 3）	評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	大学や民間企業、NPO 法人など、それぞれが得意とする分野で連携し、市民のニーズに合わせた学習機会が提供できるよう、さらに連携を深める取り組みに期待する。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	

◆推進計画全体（計画期間2年目）の評価

ライフステージに応じた学習機会や現代的・社会的課題に対応した学習機会の提供、文化・スポーツの振興など、各種事業は概ね良好に実施されており、生涯学習を通じたまちづくりが推進されている。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を休止せざるを得ないなど大きな影響が出ているが、市民のニーズを的確に捉え、これまでの手法に加え、ICTを活用するなど、新たな切り口による学ぶ機会の創出が望まれる。

